



SENNHEISER

SDW 5000 シリーズ

DECT Wireless Headset System

SDW 10 HS

SDW 30 HS

SDW 60 HS

SDW 3 BS

SDW 5 BS

BTD 800 USB



ユーザーガイド

目次

パッケージ内容.....	2
ベースステーションとコンポーネント	2
ヘッドセットとコンポーネント.....	3
製品の概要	4
ベースステーションの概要.....	4
ヘッドセットの概要.....	5
BTD 800 USB ドングルの概要.....	7
LED の概要.....	7
ベースステーションに接続する	9
ベースステーションを主電源に接続する	10
初めて使用する前に、ヘッドセットをペアリングして充電する.....	10
ベースステーションを固定電話に接続する – SDW 5 BS のみ.....	11
ベースステーションをコンピューターに接続する.....	13
ベースステーションを Bluetooth デバイスに接続する –BTD 800 USB のみ	14
Bluetooth の再接続/接続解除.....	16
オプションの USB ヘッドセットまたはスピーカーフォンを接続する	17
オプションのビジーライトを接続する	17
ヘッドセットSDW 10 HSの組み立ておよび着用方法	18
ヘッドバンドと一緒にヘッドセットを使用する	18
イヤーフックと一緒にヘッドセットを使用する.....	19
ネックバンドと一緒にヘッドセットを使用する.....	21
ヘッドバンド、イヤーフック、またはネックバンドの取り外し.....	23
ヘッドセットSDW 30 HS SDW 60 HSの組み立ておよび着用方法.....	24
ヘッドセットにラベルを貼る	25
ヘッドセットシステムを構成する.....	26
HeadSetup™ Pro または DIP スイッチを使用してヘッドセットシステムを構成する	26
ABC スイッチを使用して卓上電話のオーディオ信号を調整する – SDW 5 BS のみ	30
伝送音量の調整.....	30
ヘッドセットの準備と使用	31
音量の調整.....	31
ヘッドセットのマイクをミュートにする	32
音声プロンプトを有効/無効にする	32
バッテリーの寿命を確認する.....	33
DECT または Bluetooth の通信圏外に出る場合	33
ヘッドセットシステムを使用して電話を掛ける	34
通話の準備 - 初期設定.....	34
オーディオソースを選択する – 固定電話/ コンピューター/ 携帯電話.....	34
電話を掛ける.....	35
通話への応答/通話の拒否	35
接続したデバイスに通話を転送する.....	36
通話終了.....	37
再ダイヤル	37
1つのアクティブコールを保留にする方法.....	37
複数の通話を管理する - 2つのオーディオソースからの2つの通話	38
電話会議を設定する	40
ディクテーションモードを使用する	43
ヘッドセットを使用して音楽を聴く	44
モーションセンサーの使用	45
ヘッドセットの充電とヘッドセットシステムの保管	46
ヘッドセットを充電する	46
長時間使用しない場合に、ヘッドセットシステムをオフにする	47
ワークスペース (仕事場) を共有する	48
サードパーティー製ベースステーション (DECT-GAP 電話) でヘッドセットを使用する	48
ヘッドセットシステムのお手入れとメンテナンス.....	49
イヤークッションを交換する.....	49
ヘッドセットの充電式バッテリーの交換/取り外し.....	50
製品のファームウェアをアップデートする.....	50
問題が生じた場合.....	51
仕様	54

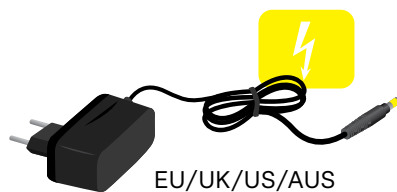
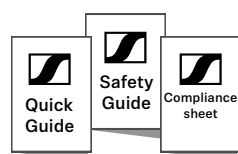
パッケージ内容

SDW 5000シリーズでは、すべてのヘッドセットとベースステーションが互いに互換性を持つため、ニーズに合わせて製品を組み合わせることができます。

- i** 安全に関する注意については、安全ガイドを参照してください。
 アクセサリのリストは www.sennheiser.com/headsets の製品ページでご覧になれます。
 サプライヤーに関する情報は、お近くの Sennheiser の販売店にお問い合わせください：
www.sennheiser.com/headsets > 「販売店検索」。

ベースステーションとコンポーネント

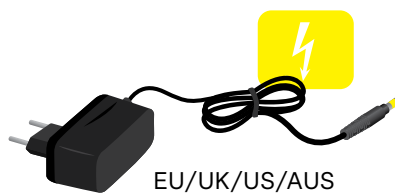
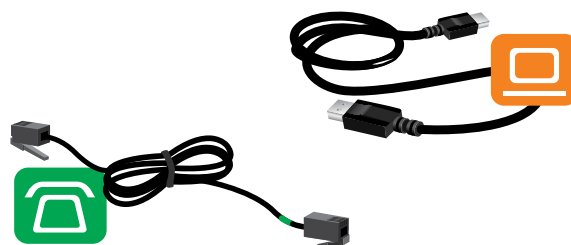
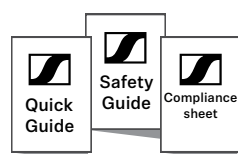
SDW 3 BS SDW 5013 & SDW 5014 bundle



SDW 5014 bundle
+ BT-D 800 USB



SDW 5 BS SDW 5015 & SDW 5016 bundle

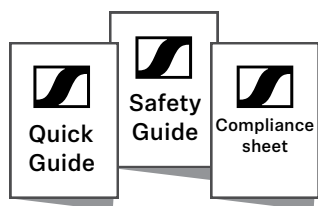


SDW 5016 bundle
+ BT-D 800 USB



ヘッドセットとコンポーネント

ヘッドセットSDW HS 10



ヘッドバンド

イヤーフックとアダプター

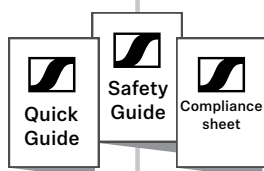
ネックバンド



*ネックバンドを取り付けるには、装着スタイルアダプターも必要です (21ページを参照)。

ヘッドセットSDW 30 HS | SDW 60 HS

SDW 30 HS



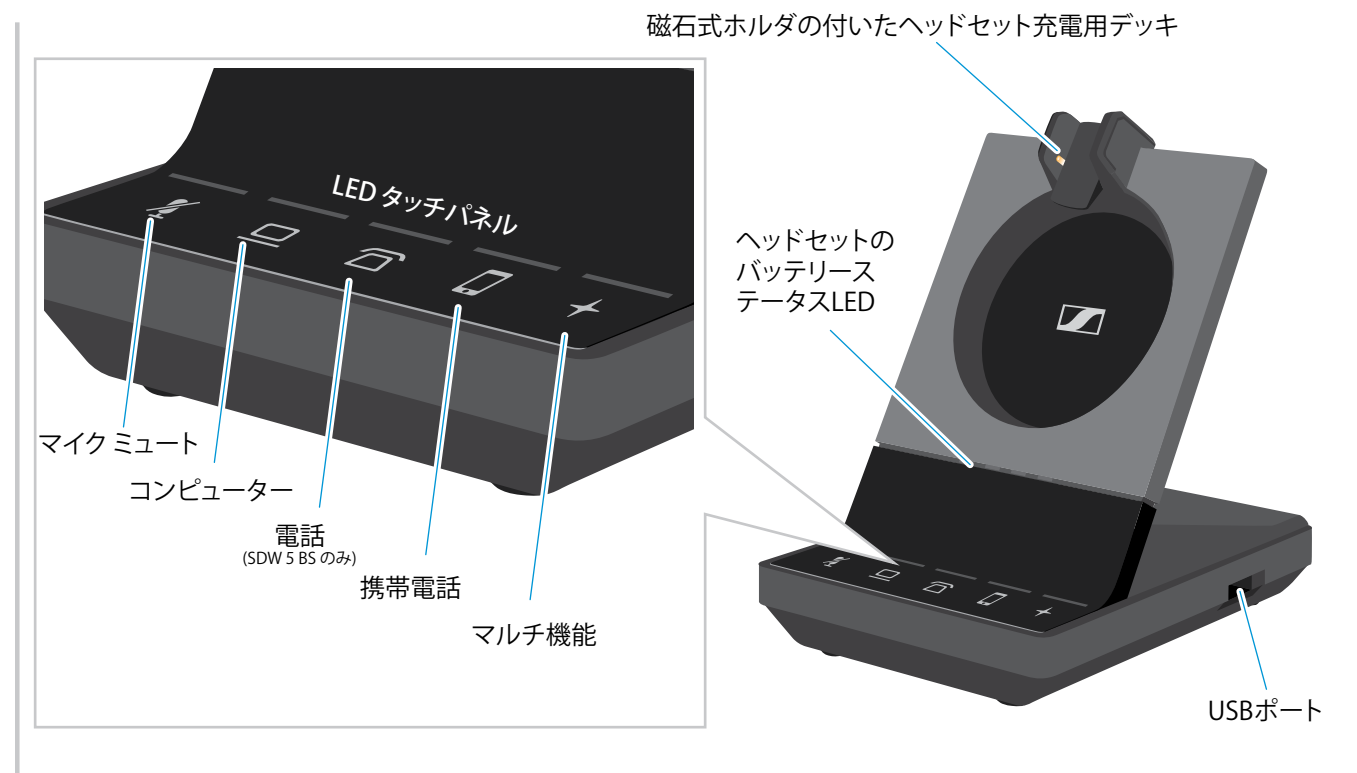
SDW 60 HS



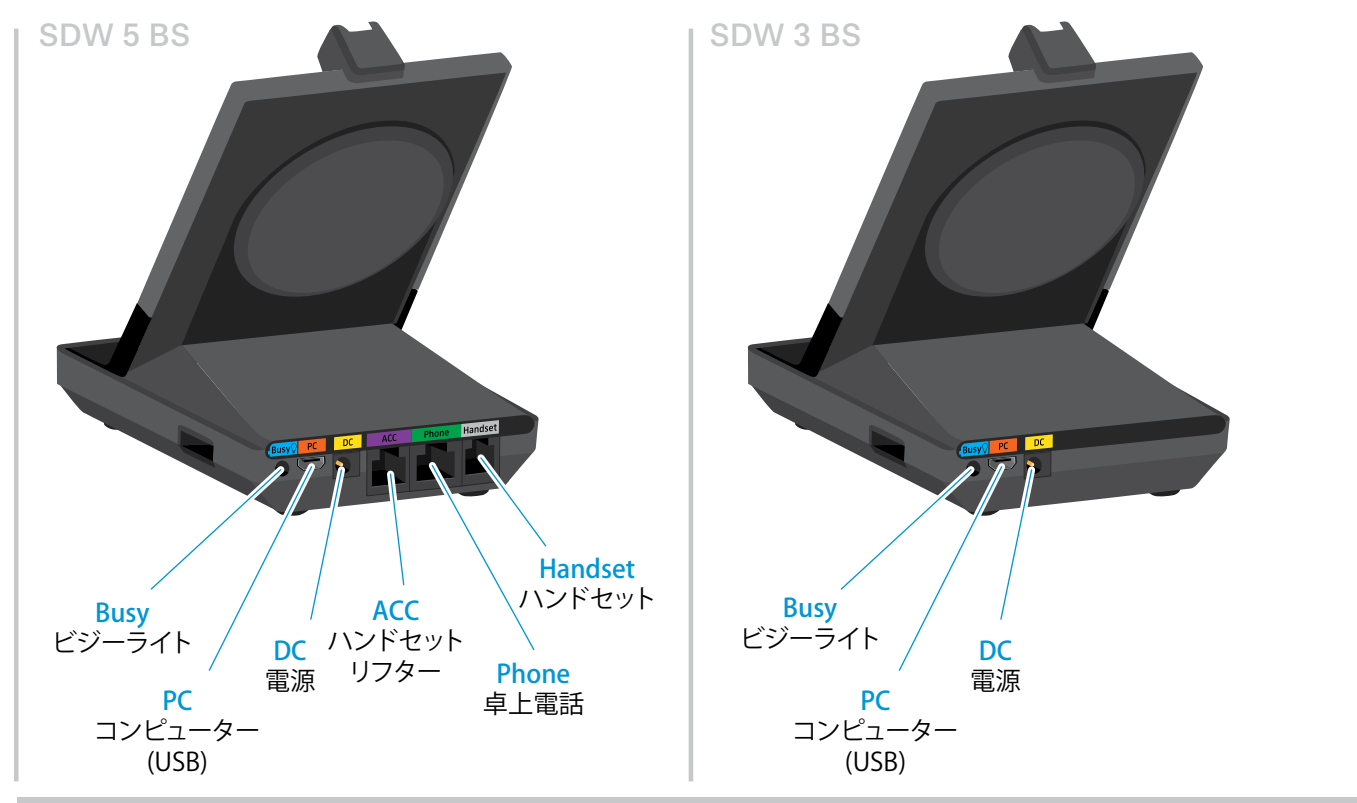
製品の概要

ベースステーションの概要

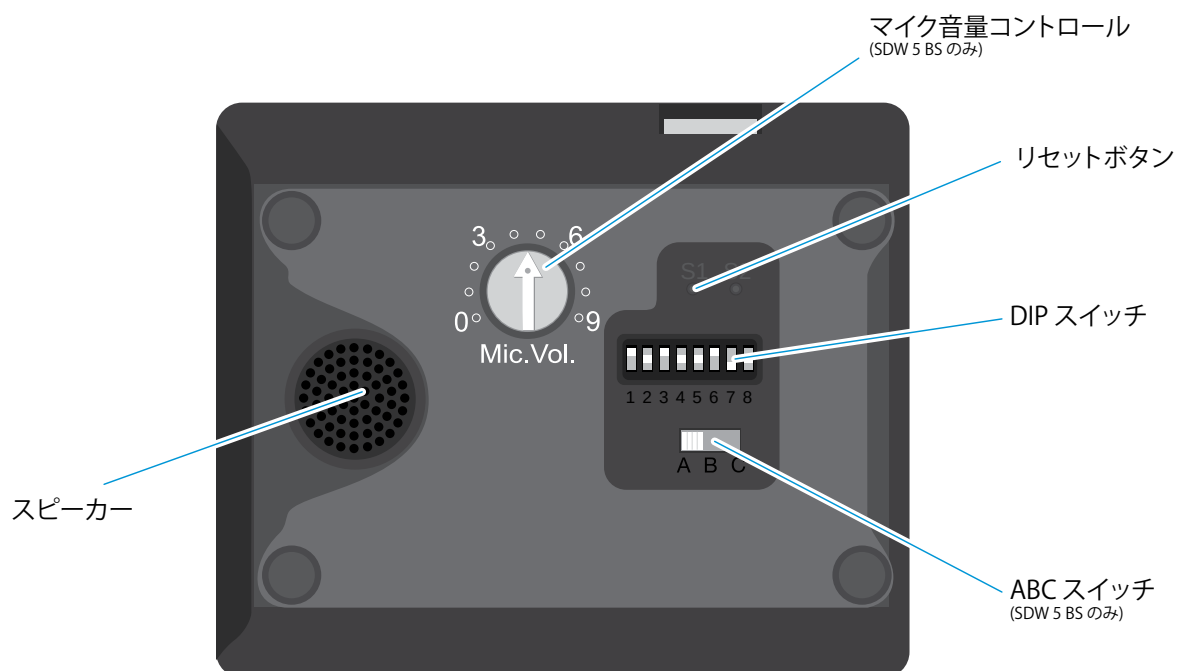
前面の概要



後面のソケットの概要

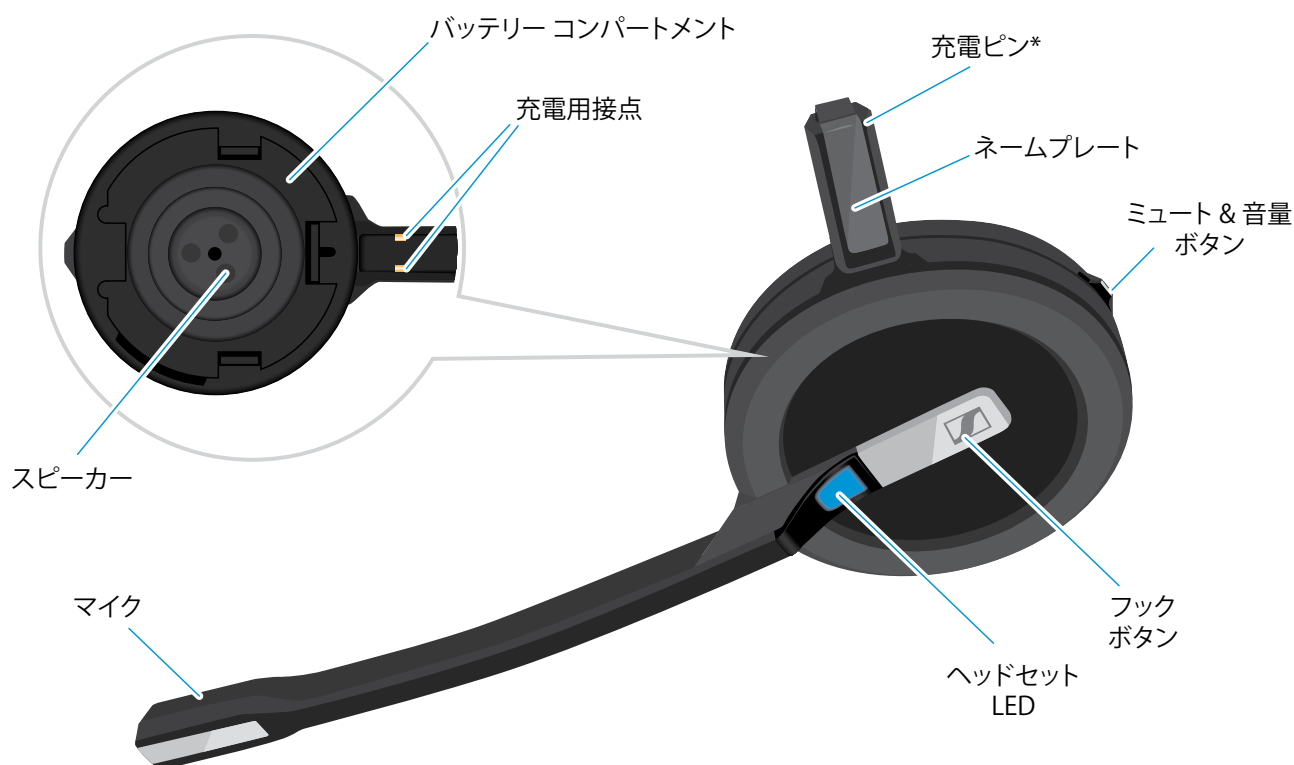


底面の概要



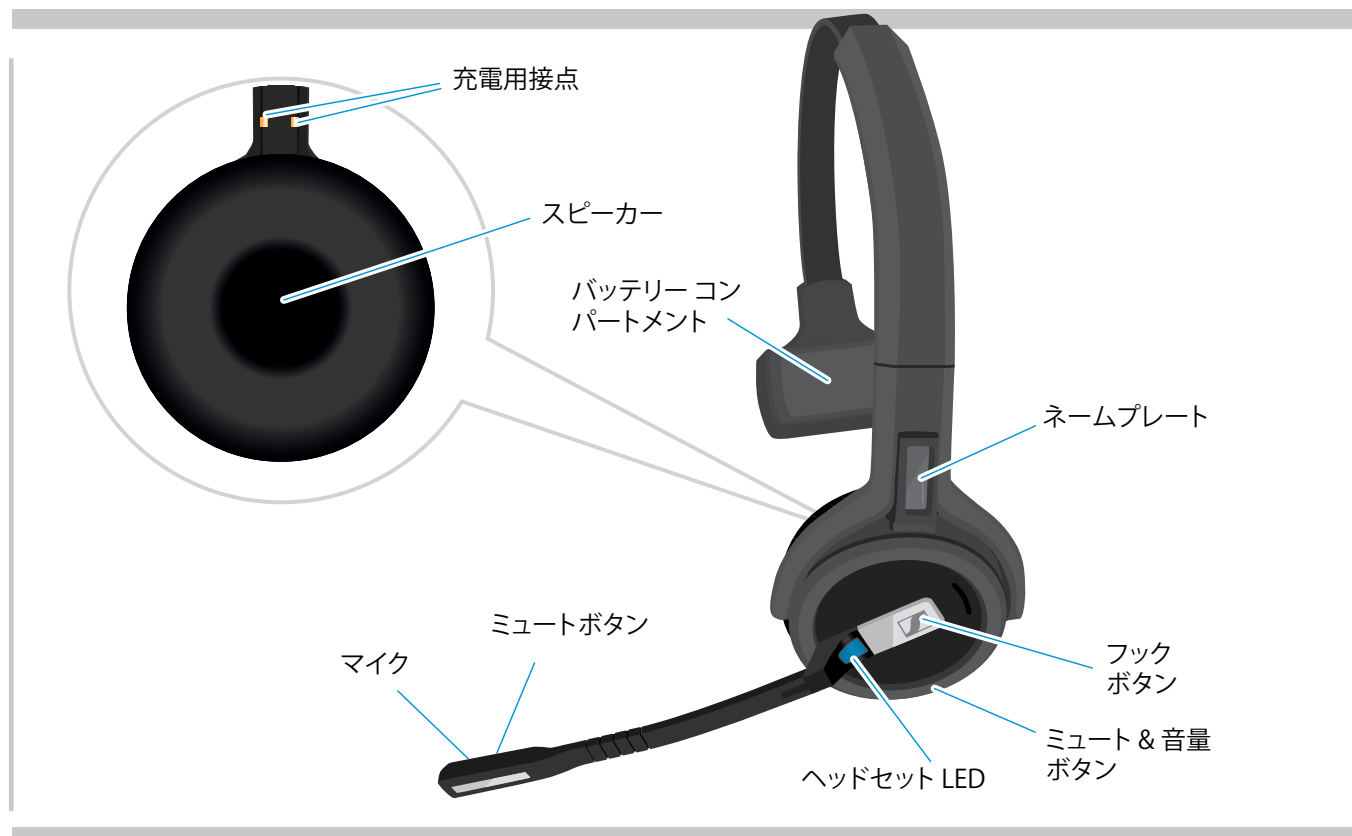
ヘッドセットの概要

ヘッドセットSDW 10 HSの概要

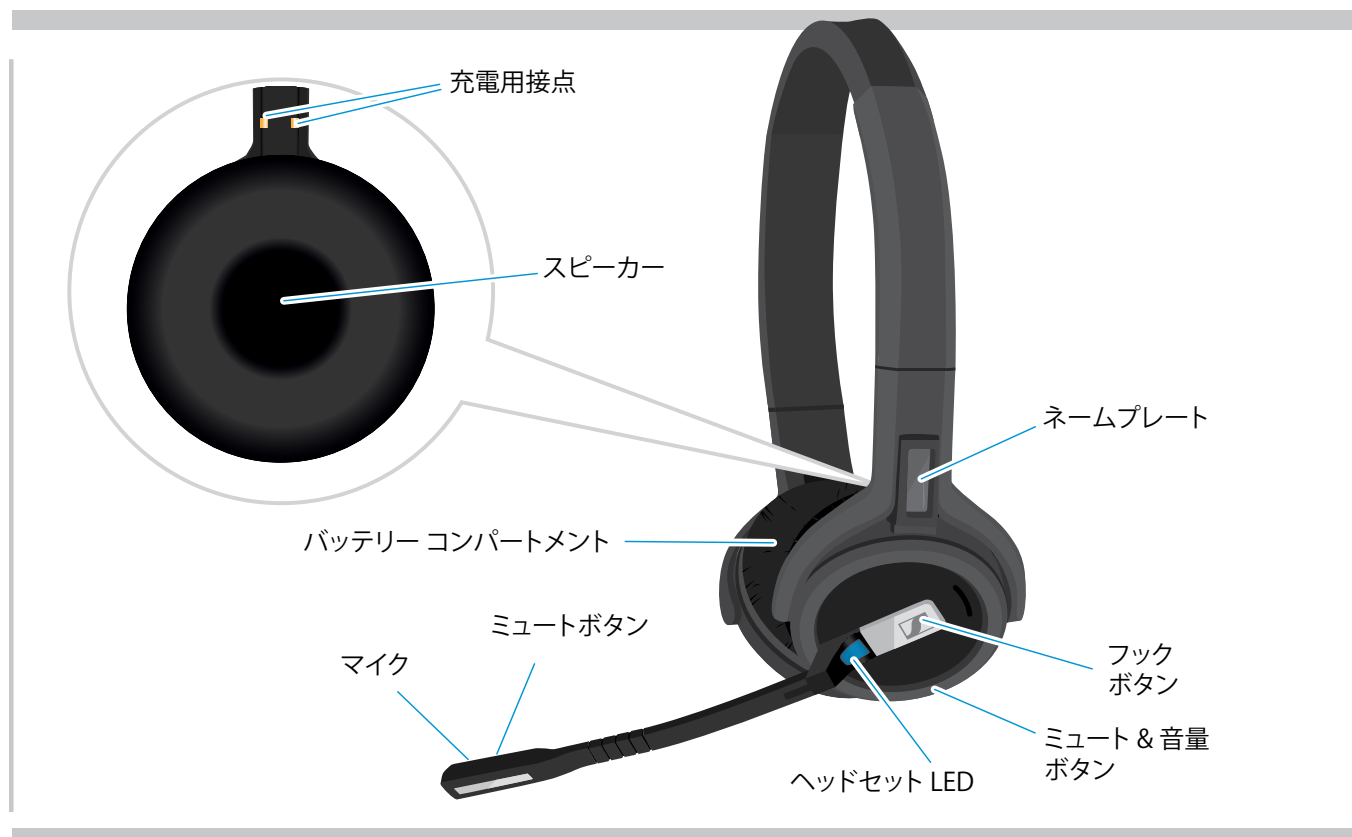


*ヘッドバンドのホルダーまたは装着スタイルアダプターに挿入して下さい

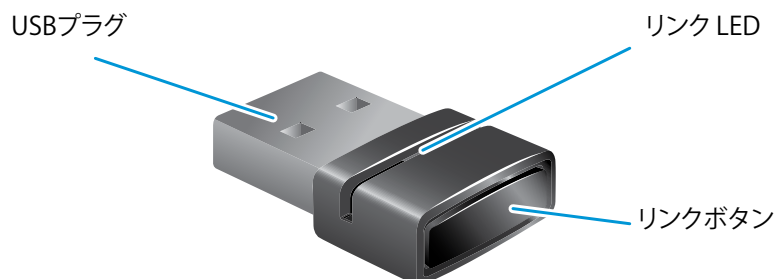
ヘッドセットSDW 30 HSの概要



ヘッドセットSDW 60 HSの概要



BTD 800 USB ドングルの概要



LED の概要

ベースステーション LED の概要

ベースステーション	LED	意味
	オフ	ヘッドセットのマイクが有効
	点灯	ヘッドセットのマイクがミュート
	オフ	対応するデバイスがフォーカスされていません*
	点灯	対応するデバイスがフォーカスされています* *フォーカスされたデバイス:ヘッドセットのフックボタンをタップした時に通話を発信するデバイス
	点灯	- 発信/現在の通話 2つのオーディオソースから結合された通話 2つの LED が点灯 □+□ / □+□ / □+□
	素早く点滅	着信
	ゆっくりと点滅	通話保留中
	オフ	外部 USB または Bluetooth ヘッドセットが接続されていません/ 音楽がありません
	点灯	- USB ヘッドセットが接続されているか、または - dongle を介して Bluetooth ヘッドセットが接続されています
	点灯	ヘッドセットが接続されていません
	点滅する	- 着信 - ヘッドセットが接続されていません - 接続された USB ヘッドセットはサポートされていません
	点灯*	音楽ストリーミング * LED は初期設定ではオフになっていますが HeadSetup™ Pro で有効化することができます。
	点灯	ディクテーション モード オン
	セグメント 1～4 が点灯	ヘッドセットのバッテリーの充電状態 (46 ページを参照)
	オフ	- ヘッドセットのバッテリー切れ - SDW 5000 ヘッドセットが接続されていません

ヘッドセットの LED の概要

ヘッドセット



LED	意味
	- ヘッドセットをベースステーションで充電中 - ヘッドセットが CH 30 充電器で完全に充電されました
	ヘッドセットとベースステーションをペアリング中
	- ヘッドセットのスイッチがオン - ヘッドセットがベースステーションに正しく接続されました
	ヘッドセットのスイッチがオフ
	着信
	- 発信/通話中 - ソフトフォンのステータス: ビジー
	音楽ストリーミング
	* LED は初期設定ではオフになっていますが HeadSetup™ Pro で有効化することができます。
	ヘッドセットがベースステーションで完全に充電されました
	ファームウェアがアップグレードされました

ドングル BTD 800 USB LED の概要

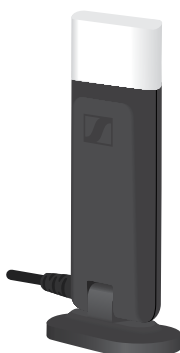
ドングル



LED	意味
mode 1: 	ドングルがペアリングモード: ペアリングして接続する Bluetooth デバイスを検索中
mode 2: 	- 検索モード1: 携帯電話 - 検索モード2: Bluetooth ヘッドセット
	ペアリングが完了しました
	ペアリングできませんでした
	ドングルが Bluetooth デバイスに接続を試みています
	ドングルとモバイルデバイスが接続しました
	- 発信/通話中 - 標準音質の音楽ストリーミング
	着信
	高音質の音楽ストリーミング
	接続されている Bluetooth デバイスのマイクがミュートになっています

ビジーライト LED UI 10 BL の概要

ビジーライト



LED	意味
	- ソフトフォンのプレゼンス状態: 通話可能 - 通話中ではない - 音楽ストリーミング
	- ソフトフォンのプレゼンス状態: 退席中/ すぐ戻ります - ヘッドセットが電波の届かないところにある - ヘッドセットが接続されていない
	- ソフトフォンのプレゼンス状態: ビジー/ プレゼンテーション中/ 応答不可 - ソフトフォン、卓上電話またはスマートフォンで通話中 - UC* クライアントが会議中

*UC クライアント = Microsoft® Skype for Business などのユニファイドコミュニケーションクライアント

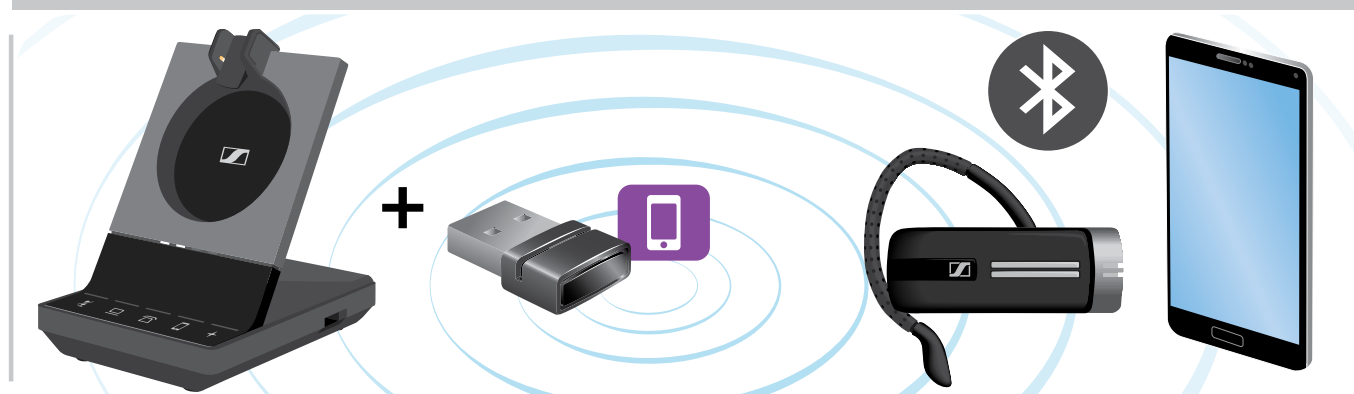
ベースステーションに接続する

ベースステーションはヘッドセットへのワイヤレス通信を制御します。

バリエーションに応じて、ヘッドセットシステムを固定電話および/またはコンピューターに接続することができます。



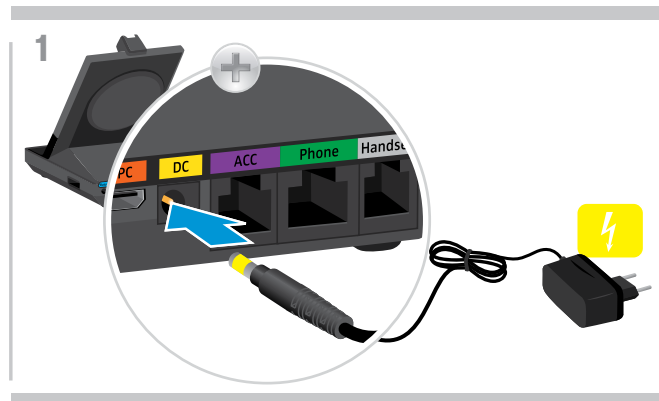
Bluetooth ドングル BT-D 800 USB を介して、スマートフォンまたは Bluetooth ヘッドセットを接続することができます。



さらに、USB ヘッドセットまたはスピーカーフォンを USB ポートに接続するか、またはビジーライト UI 10 BL をベースステーションの後部に接続することができます。



ベースステーションを主電源に接続する



- ▶ 電源ユニットのプラグをDC ソケット (黄色のマーク) に接続します。



- ▶ 電源ユニットを壁のコンセントに接続します。
+LED が赤色に点灯します。
電源接続を使用する機能と使用しない機能のサポートについては 13 ページを参照してください。

ベースステーションを主電源から切断します。

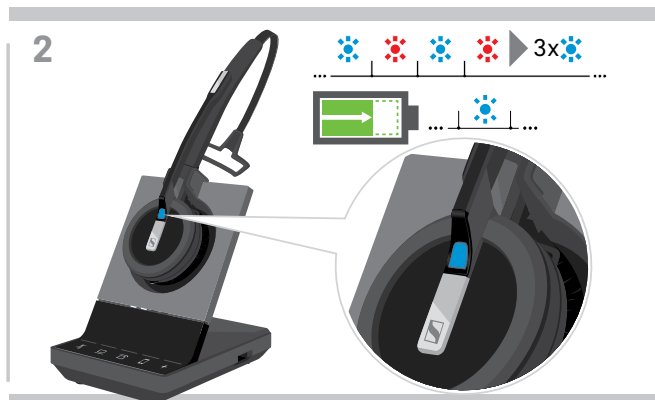
- ▶ 長期間製品を使用しない場合は、壁のコンセントから電源ユニットのプラグを抜いてください。

初めて使用する前に、ヘッドセットをペアリングして充電する

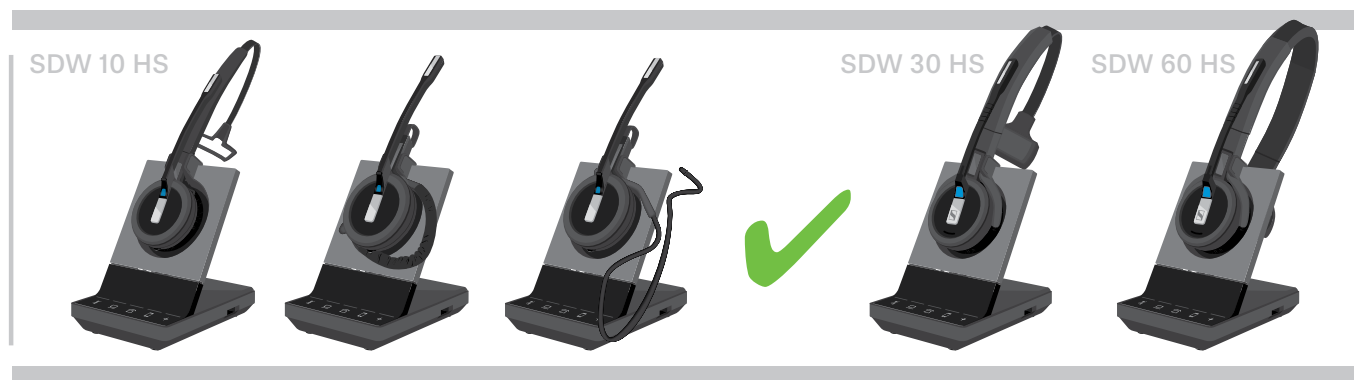
- ▶ 最初に使用する前に、充電式バッテリーを最低20分間充電してください。
完全に充電するにはSDW 10 HSは約60分、SDW 30 HS/ SDW 60 HSは約90分かかります (46 ページを参照)。



- ▶ ヘッドセットをベースステーションのマグネット式ホルダーに乗せます。
ベースステーションのヘッドセットのバッテリーステータスLED が充電状態を示します。



- ヘッドセットとベースステーションがペアリングされていない場合は、ヘッドセットの LED が青と赤に交互に短く点滅します。ペアリングが完了するとLED が青色に変わり、ヘッドセットの充電が開始します。



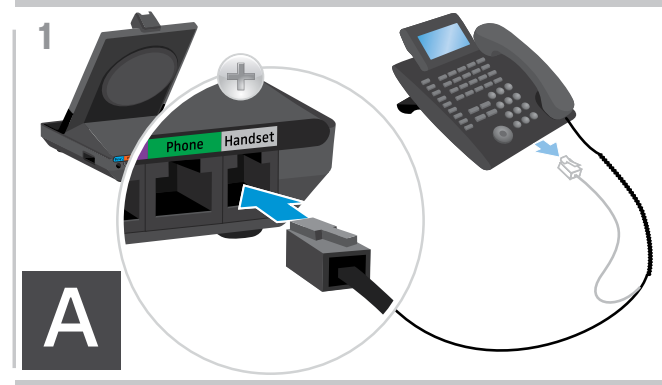
- i** 最初の充電プロセス、または長期間使用せずに保管した後の充電では、LED が点灯するまでに5分ほどかかることがあります。

ベースステーションを固定電話に接続する – SDW 5 BS のみ

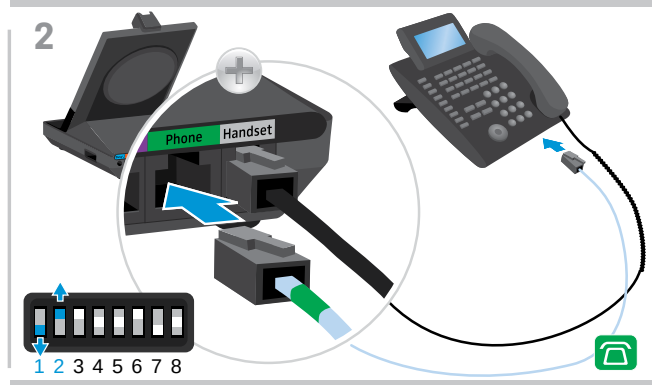
- ▷ お使いの電話に最も適した接続方法を確認し、対応する章 A、B、C または D の指示に従います。
- ▷ ベースステーションを固定電話から最低15cm 離れた場所に配置してください。



ベースステーションをヘッドセットソケットの付いていない固定電話に接続する

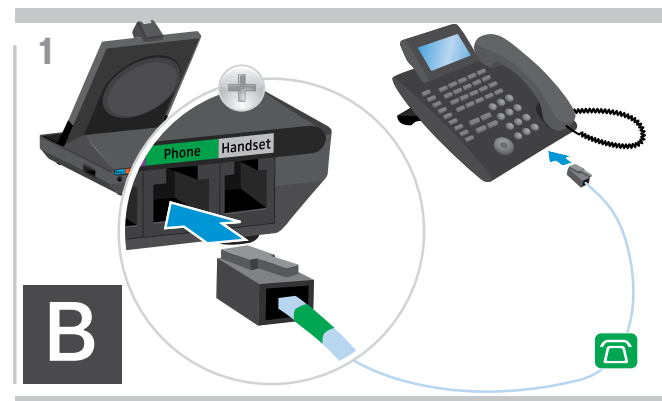


- ▷ 電話からヘッドセットケーブルを外します。
- ▷ ヘッドセットケーブルをベースステーションの **ヘッドセット** ソケットに接続します。

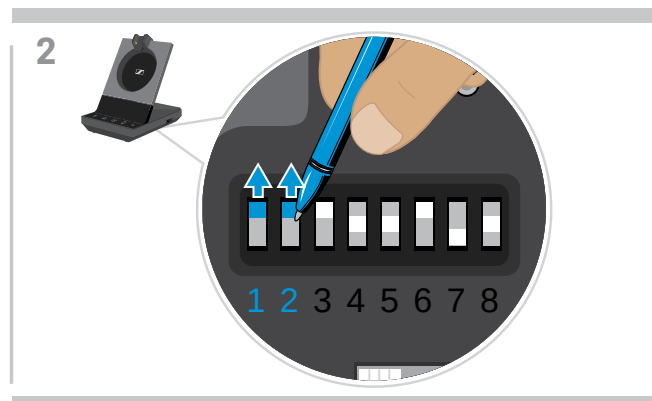


- ▷ 電話回線用ケーブル(モジュラーケーブル) をハンドセットのソケットと ベースステーションの **電話** 用ソケットに接続します。
- ▷ 先の尖った物を使用して、ベースステーションの底面にある DIP スイッチ **1** と **2** を示される位置に設定します。

ベースステーションをヘッドセットソケットの付いた固定電話に接続する



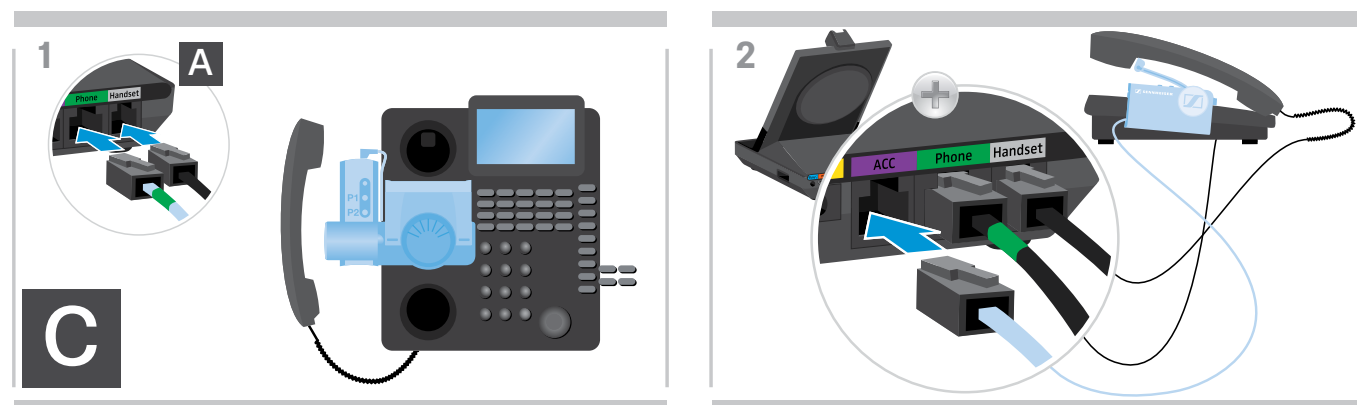
- ▷ 電話回線用ケーブル(モジュラーケーブル) を電話のヘッドセット用ソケットと ベースステーションの **電話** 用ソケット (緑のマーク) に接続します。



- ▷ 先の尖った物を使用して DIP スイッチ **1** と **2** を示される位置に設定します。

ベースステーションをオプションのメカニカルヘッドセットリフターに接続する

ハンドセットリフターを使用することで、デスクから離れている時でも着信に応答することができます。Sennheiser HSL 10 II メカニカルハンドセットリフターは、お近くの Sennheiser 販売店でお求めいただけます。



- ▶ A 章に記載されている通りに、ベースステーションを固定電話に接続します。
- ▶ ハンドセットリフターを固定電話に接続する。より詳しい情報については、HSL 10 II ハンドセットリフターの取扱説明書を参照してください。
- ▶ ハンドセットリフターをベースステーションの **ACC** ソケットに接続します。

ベースステーションをオプションの電子フックスイッチ制御 (EHS) に接続する

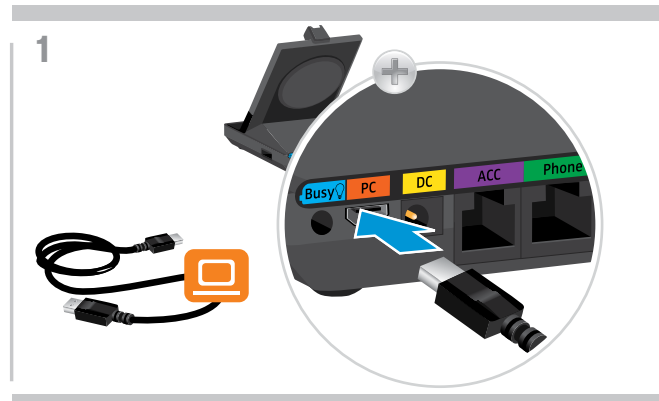
必要な EHS 接続ケーブルと、メーカー固有規格用のアダプターケーブルは、お近くの Sennheiser 販売店でお求めいただけます。

対応する電話とケーブルに関するより詳しい情報については、
www.sennheiser.com/headsetcompatibilityをご覧ください。
 クイックガイドがケーブルに付属しています。または弊社ウェブサイト
www.sennheiser.com/headsetsの製品ページでもご覧になれます。

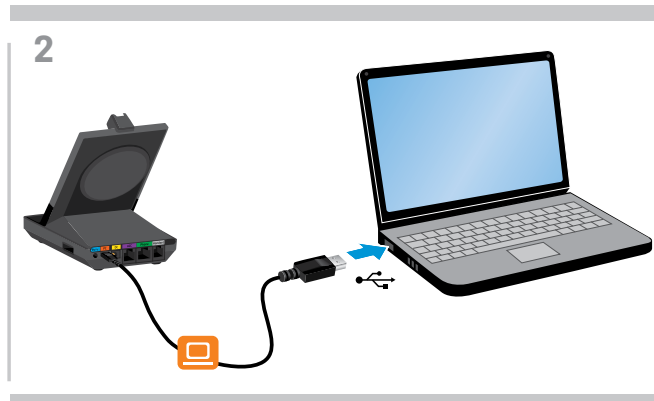


- ▶ ケーブルのクイックガイドに示される通りに、ベースステーションを固定電話に接続します。
- ▶ 先の尖った物 (ボールペンなど) を使用して、DIPスイッチをケーブルのクイックガイドに示される位置に設定します。

ベースステーションをコンピューターに接続する



- ▶ USB ケーブルをベースステーションの **PC** ソケットに接続します。



- ▶ USBケーブルをコンピューターのUSBソケットに接続します。オペレーティングシステムが USB オーディオデバイス「Sennheiser SDW 5 BS」または「Sennheiser SDW 3 BS」を検出し、必要なドライバーをインストールします。

Sennheiser ソフトウェアのインストール

Sennheiser ソフトウェアは、Sennheiser 製品に付加価値をもたらします。**HeadSetup™ Pro** を使用することで、SDW 5000 シリーズの設定や構成、アップデートが簡単に行えるようになります。



- ▶ www.sennheiser.com/software からソフトウェアをダウンロードします。
- ▶ ソフトウェアをインストールします。
ソフトウェアをインストールするには、お使いのコンピューターの管理者権限が必要です。必要な場合は、貴社のIT部門にお問い合わせください。

コンピューターから電話を掛けるには：

- ▶ Skype for Business などのソフトフォン (VoIP ソフトウェア) をインストールするか、または管理者にサポートを依頼してください。

電源接続を使用する機能と使用しない機能

機能	USB 電源のみ	USB 電源 + 電源ユニット
ソフトフォンの完全な機能性	✓	✓
複数の SDW 5000 ヘッドセットを使用する電話会議	✓	✓
卓上電話接続	✗	✓
USBポートの機能： dongle、USB ヘッドセット & スピーカーフォンを通じた Bluetooth ヘッドセット & モバイル	✗	✓
ビジーライトサポート	✗	✓
急速充電	✗	✓

ベースステーションを Bluetooth デバイスに接続する –BTD 800 USB のみ

BTD 800 USB ドングルを使用することで、Bluetooth を通じてスマートフォンやヘッドセットをベースステーションに接続することができます。

このドングルは Bluetooth 4.2 規格に準拠しています。「ハンドフリー プロファイル」(HFP)、「ヘッドセット プロファイル」(HSP)、または「アドバンスド オーディオ ディストリビューション プロファイル」(A2DP) をサポートする Bluetooth デバイスをペアリングします。



このドングルには、最大8台のペアリングされた Bluetooth デバイスを保存することができます。9台のデバイスをペアリングする場合は、保存されている最も使用頻度の少ない Bluetooth デバイスの接続プロファイルが上書きされます。このデバイスとの接続を再確立したい場合は、デバイスをペアリングし直す必要があります。



スイッチをオンにすると、ドングルが一番最後に接続した2つの Bluetooth デバイスへの接続を自動的に試みます(スマートフォンと Bluetooth ヘッドセットを組み合わせで使用することはできません)。1台目または2台目の Bluetooth デバイスの電源をオフにしない限り、3台目の Bluetooth デバイスに接続することはできません。

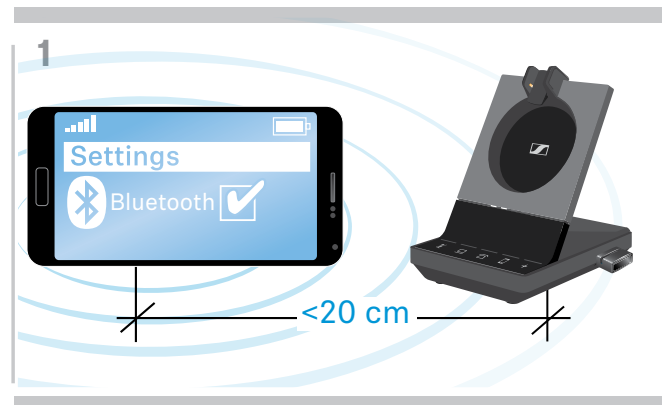
Bluetooth ドングルをベースステーションに接続する



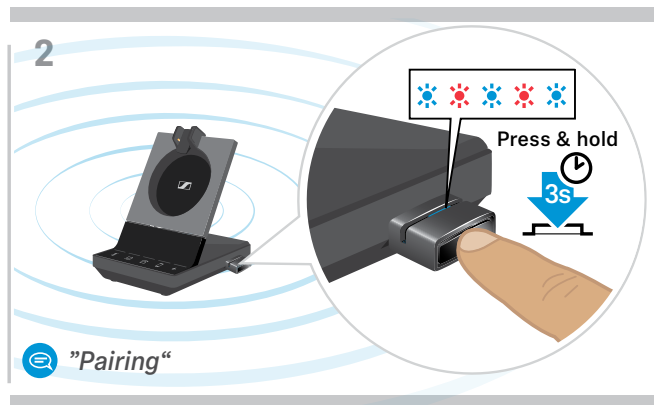
BTD 800 USB ドングルは SDW 50X4 と SDW 50X6 のバンドルに付属しており、アクセサリとしても購入できます。

- ▶ ドングルをベースステーションの USB ポートに差し込みます。
- ▶ 次の2つの章のいずれかに記載されている指示に従ってください。新しい未使用のドングルは、自動的にペアリングモードに切り替わります。LED が青と赤に交互に点滅します。

携帯電話またはタブレットを Bluetooth でペアリングする



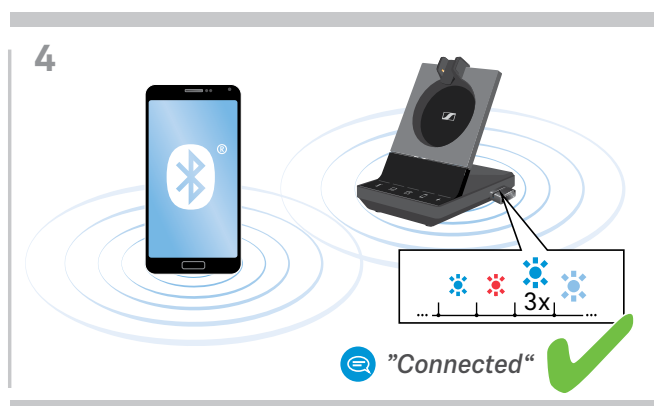
- ▶ スマートフォンまたはタブレットで Bluetooth を有効にします (ご使用のデバイスの取扱説明書を参照)。



- ▶ ドングルのボタンを3秒間プレス アンド ホールド (長押し) してペアリングモードにします。LED が青と赤に交互に点滅します。

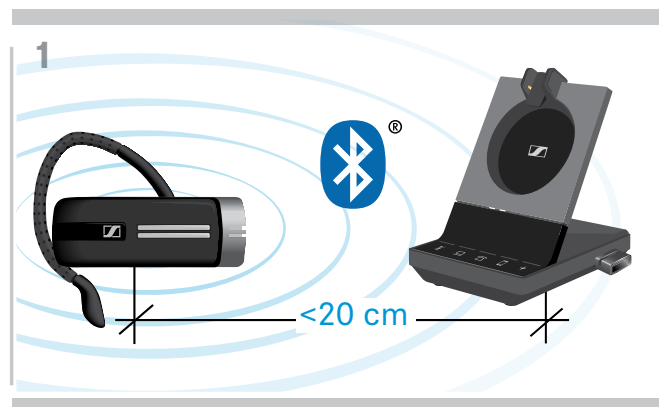


- ▶ 新しい Bluetooth デバイスの検索を開始します。スマートフォンまたはタブレットの近くにある利用可能なすべてのデバイスが表示されます。
- ▶ ドングルをペアリングするために「Sennheiser BTD 800 USB」を選択します。必要な場合は、初期設定のPINコード「0000」を入力します。

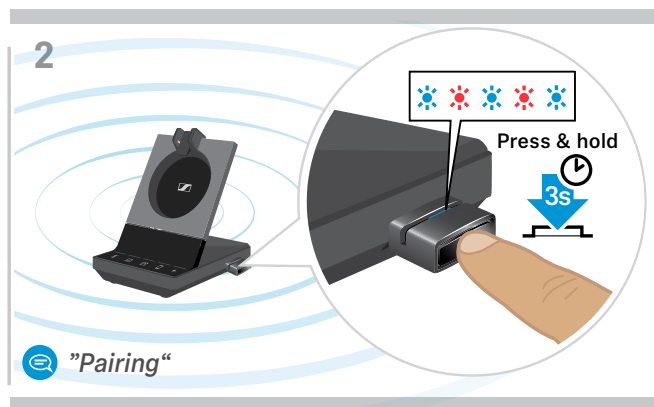


Bluetooth デバイスがペアリングされると、LED が3回青く点滅した後、薄暗い青色に点灯します。

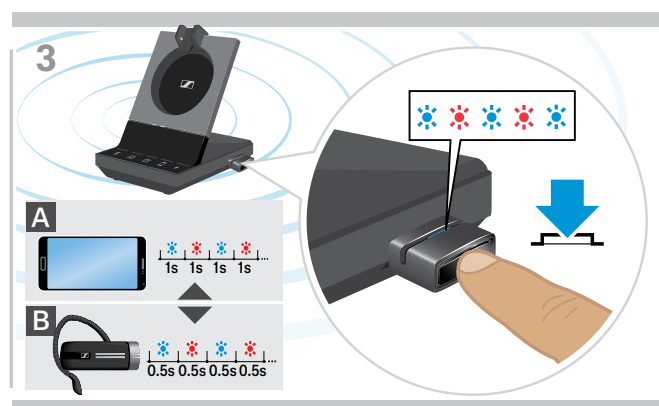
ヘッドセットを Bluetooth でペアリングする



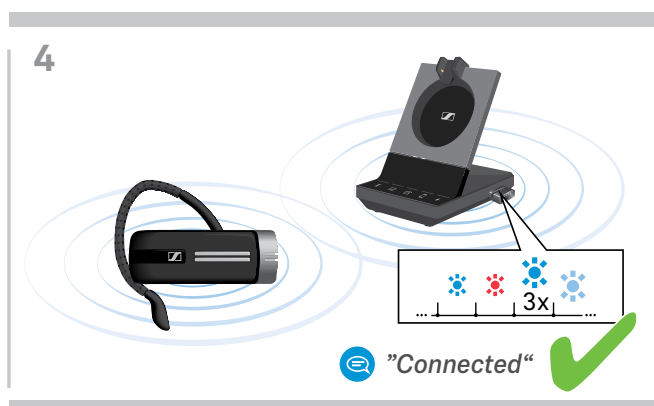
- ▶ Bluetoothヘッドセットでペアリングモードを有効にします（デバイスの取扱説明書を参照）。



- ▶ ドングルのボタンを3秒間プレス アンド ホールド（長押し）してペアリングモードにします。LED が青と赤に交互に点滅します。



- ▶ もう一度ボタンを押してスマートフォン A またはヘッドセット B のペアリングモードを切り替えます。

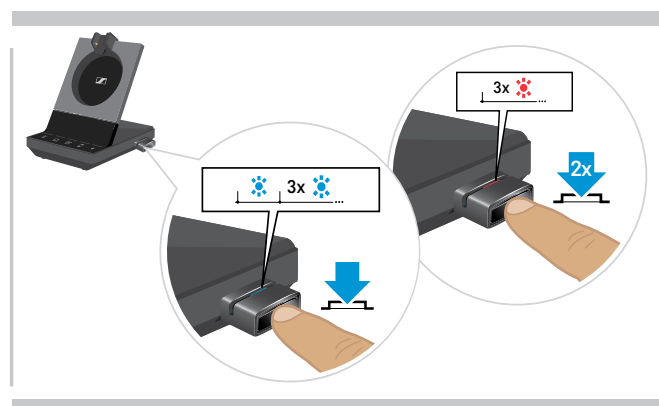


- Bluetooth デバイスがペアリングされると、LED が3回青く点滅した後、薄暗い青色に点灯します。

以前にペアリングしたデバイスのリストをクリアする

- ▶ ドングルのボタンを3秒間プレス アンド ホールド（長押し）してペアリングモードにします。LED が青と赤に交互に点滅します。
- ▶ ドングルのボタンをダブルプレスします。LED が紫色に3回点滅します。ペアリングリストが消去されました。

Bluetooth の再接続/接続解除



Bluetooth デバイスを再接続するには：

- ▶ ドングルのボタンをタップします。LED が青く一度点灯した後、青く3回点滅します。LED が薄暗い青色に点灯します。

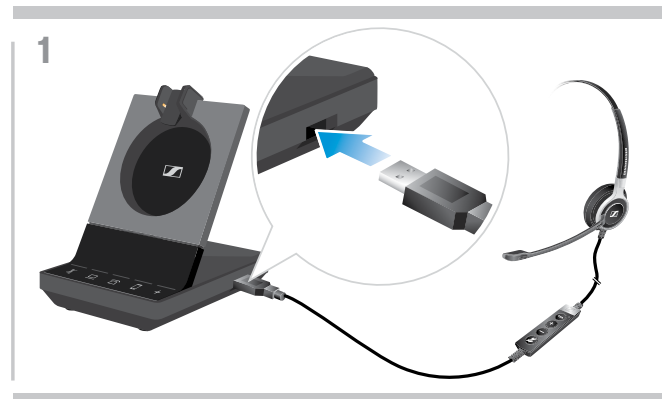
Bluetooth デバイスを接続解除するには：

- ▶ ドングルのボタンをダブルタップします。Bluetooth が接続解除されます。LED が赤く3回点滅します。ドングルが青く点滅し始め、別の Bluetooth デバイスを検索します。

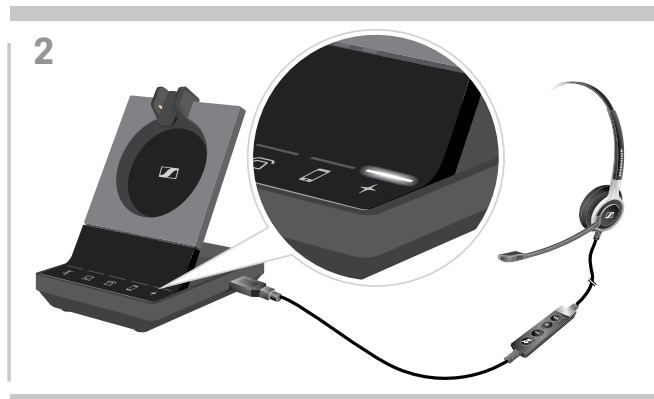
オプションの USB ヘッドセットまたはスピーカーフォンを接続する

たとえば、SDW ヘッドセットのバッテリーがなくなった時や、会議電話に他の参加者を追加したい時は、Sennheiser USB ヘッドセットまたは USB スピーカーフォンをいつでも接続することができます。

USBヘッドセットの接続



▶ ヘッドセットをベースステーションの **USB** ソケットに接続します。



LED + ライトが白く点灯します。

スピーカーフォンの接続



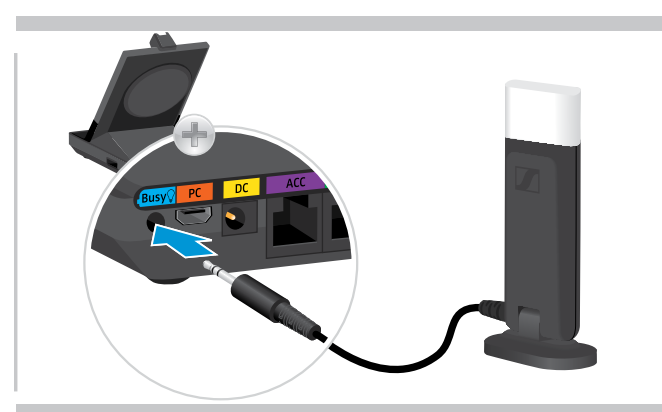
Sennheiser スピーカーフォン SP 10、SP 20、SP 220などの **マイクロフォン付き外部スピーカー**を使用するには：

- ▶ スピーカーフォンをベースステーションの **USB** ソケットに接続します。
LED + ライトが白く点灯します。

スピーカーフォンの使用中にSDW ヘッドセットを充電したい場合：

- ▶ 通話を開始する前に、ヘッドセットがドッキングされていることを確認するか、**または**ベースステーションの **+アイコン**をダブルタップして、ヘッドセットからスピーカーフォンに通話を転送します。

オプションのビジーライトを接続する

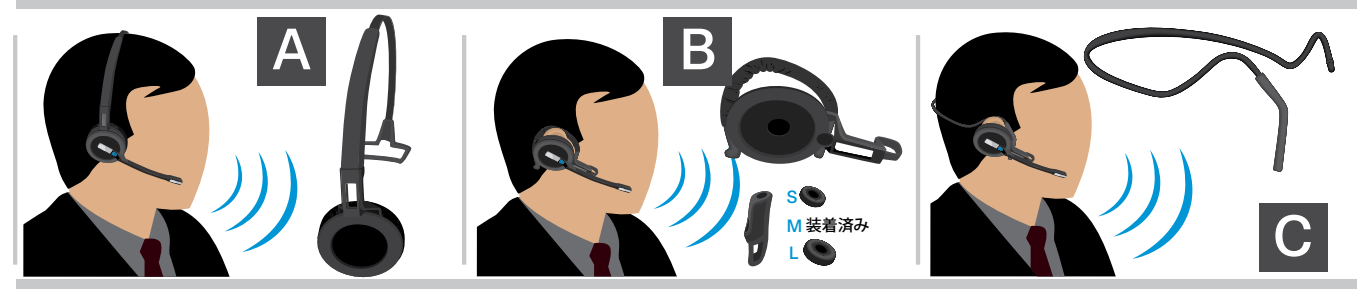


ビジーライト UI 10 BL は、同僚にあなたが通話できる状態か話し中かを知らせます。ビジーライト UI 10 BL はアクセサリとして購入できます。

- ▶ ビジーライトをベースステーションのビジーソケットに接続します。
ベースステーションの電源がオンの時は、ビジーライトの LED が点灯します (8を参照)。
- ▶ 必要に応じて、ビジーライトをモニターまたはデスクに取り付けます (UI 10 BL クイックガイドを参照)。

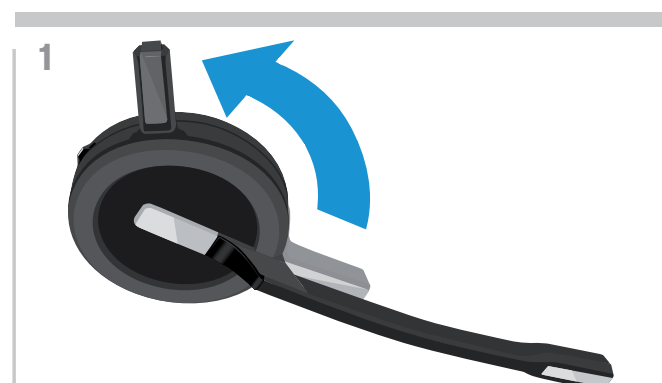
ヘッドセットSDW 10 HSの組み立ておよび着用方法

ヘッドセットは、ヘッドバンド、イヤーフック、またはネックバンドを使用して装着することができます。

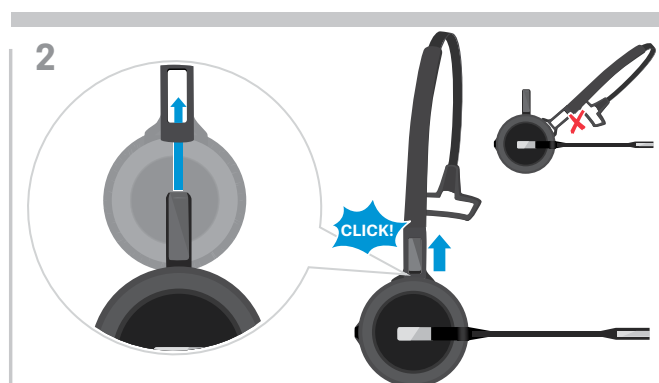


▶ 組み立てる前に、充電ピンを挿入する位置を示すステッカーを剥がしてください。

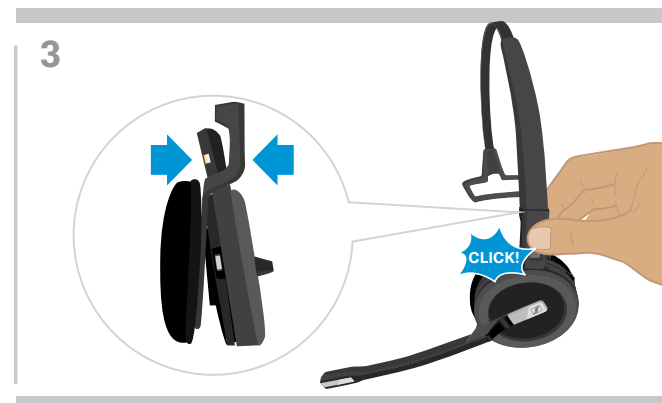
ヘッドバンドと一緒にヘッドセットを使用する



▶ ヘッドセットの充電ピンを回してマイクのブームから遠ざけます。



▶ 充電ピンをスライドさせてヘッドバンドのホルダーに差し込みます。



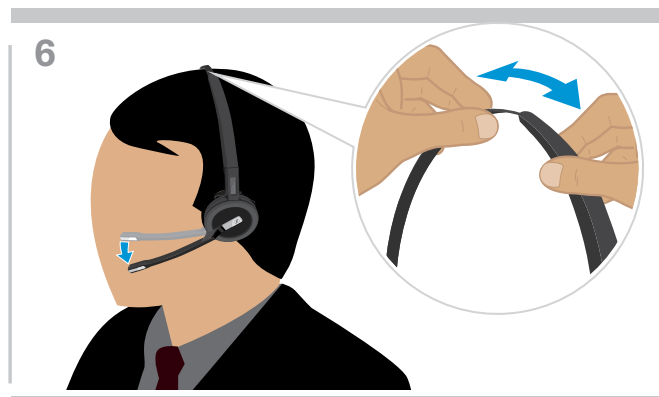
▶ 充電ピンをヘッドバンドにはめ込みます。



▶ ヘッドセットをヘッドバンドの円形部品にはめ込みます。



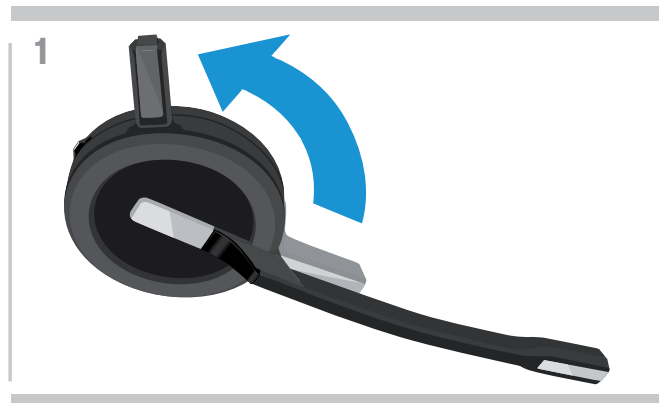
▶ マイクのブームを回転させて装着する側を切り替えます。



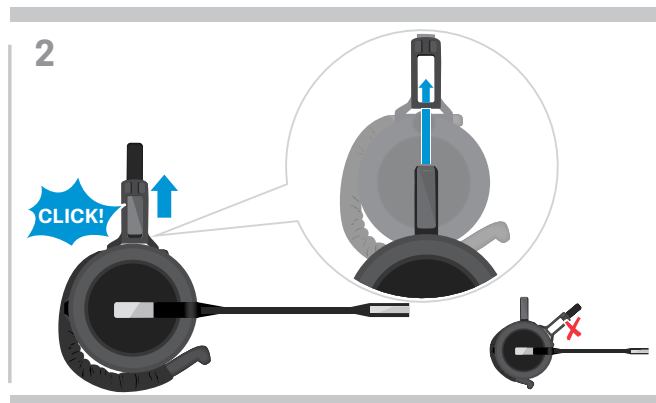
▶ イヤープッドが右耳または左耳に快適にかぶさるように、ヘッドセットを調節します。

イヤーフックと一緒にヘッドセットを使用する

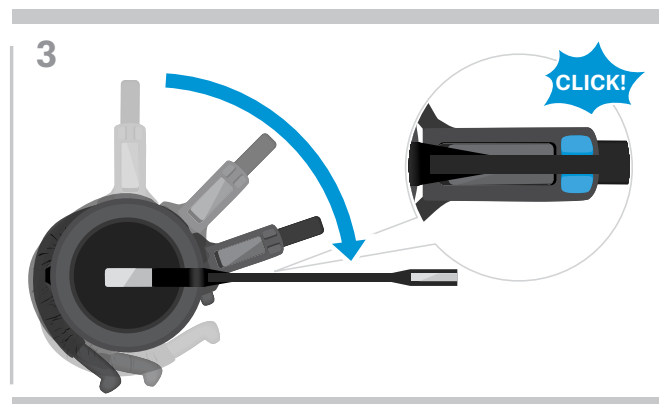
イヤーフックをヘッドセットに取り付ける



- ▶ ヘッドセットの充電ピンを回してマイクのブームから遠ざけます。

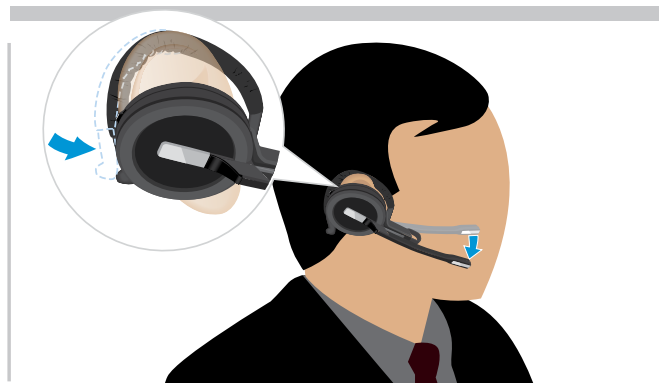


- ▶ 充電ピンを装着スタイルアダプターのホルダーに差し込みます。

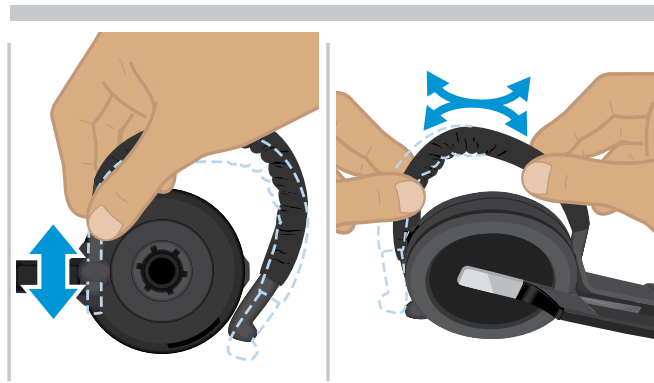


- ▶ ブームアームを回転させて装着スタイルアダプターにはめ込みます。

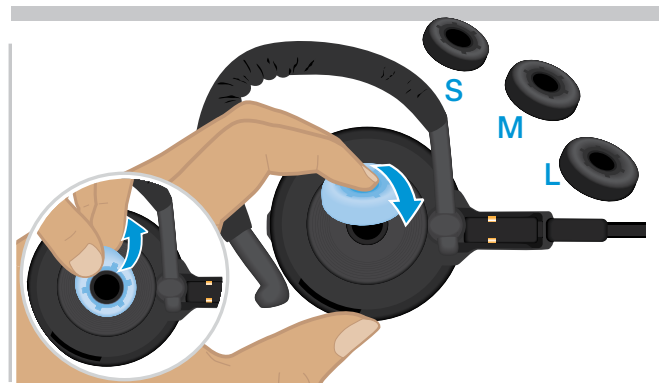
完璧な装着感を得るために、イヤーフックを調節する



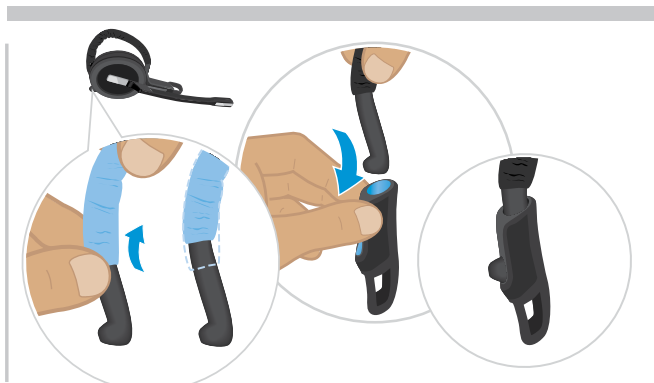
- ▷ 耳にはめるイヤーパッドを使用して、イヤーフックを耳の周りにフィットさせます。
- ▷ ヘッドセットが快適かつ安全に耳にかぶさるように、フレキシブルイヤーフックを折り曲げます。



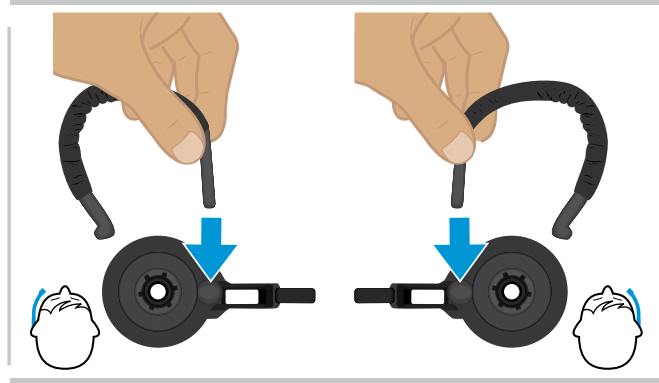
- ▷ イヤーフックの高さと形状を調整します。



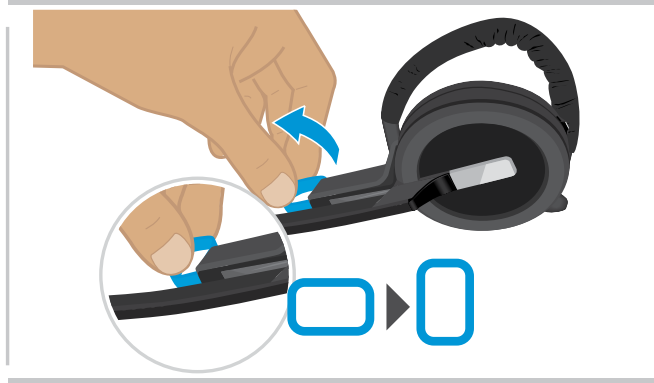
- ▷ 最適なフィットのために必要に応じてイヤーパッドのサイズを交換します。



- ▷ 必要な場合は、より快適にフィットさせるためのイヤーフックスタビライザーを取り付けます。



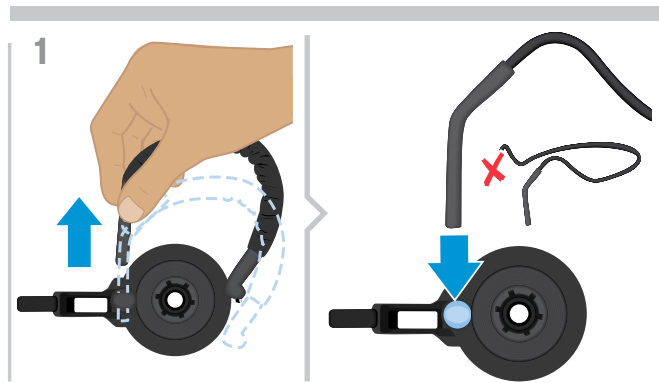
- ▷ 必要に応じて装着する側を変えてください。



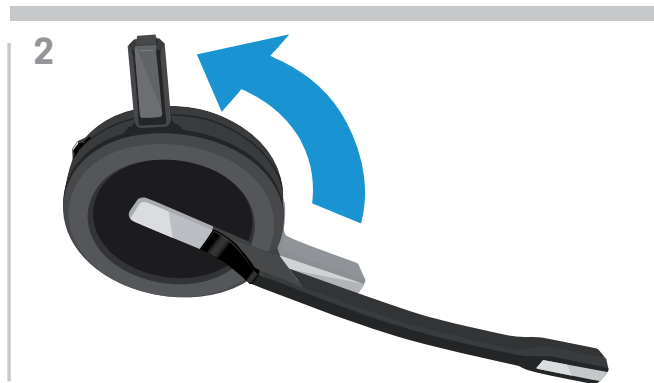
- ▷ 必要に応じて、チークスピーカーを回転させてマイクと口の間の距離を調整します。

ネックバンドと一緒にヘッドセットを使用する

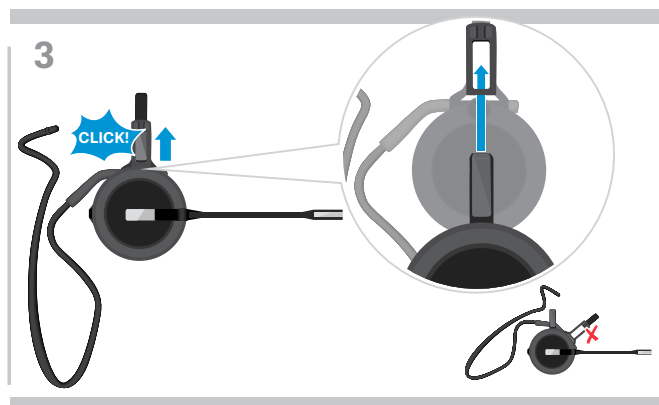
ネックバンドをヘッドセットに取り付ける



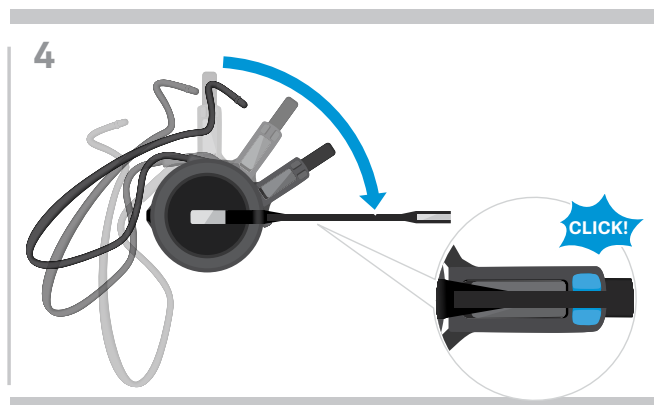
- ▶ 装着スタイルアダプターからイヤーフックを外して、代わりにネックバンドを挿入します。挿入するのは、ネックバンドのホルダーが付いている側です。



- ▶ ヘッドセットの充電ピンを回してマイクのブームから遠ざけます。

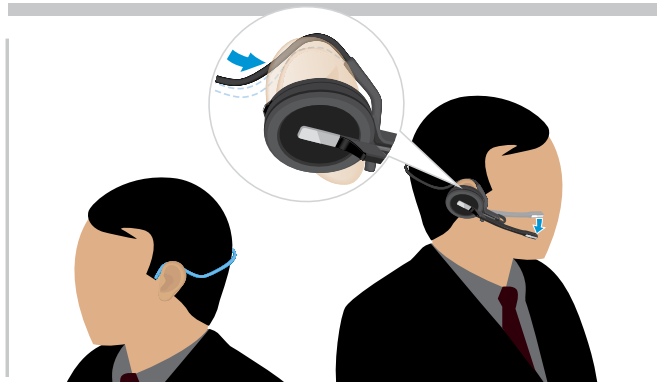


- ▶ 充電ピンを装着スタイルアダプターのホルダーに差し込みます。

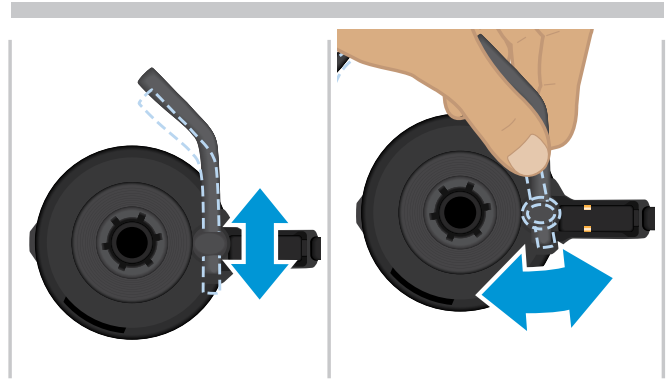


- ▶ 図のように、ブームアームを回転させて装着スタイルアダプターにはめ込みます。

完璧な装着感を得るために、ネックバンドを調節する



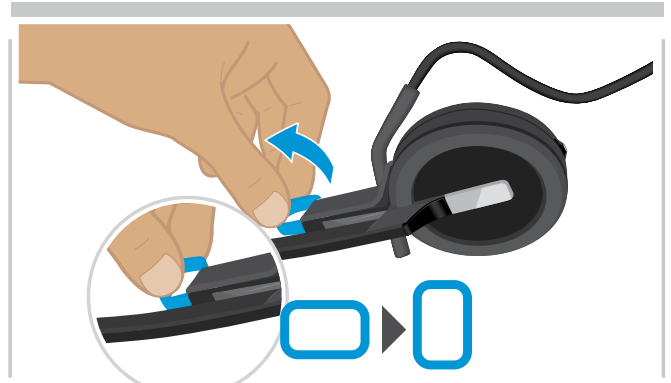
▷ 首と両耳の周りにネックバンドをフィットさせます。イヤerpッドが耳に当たっているか確認します。



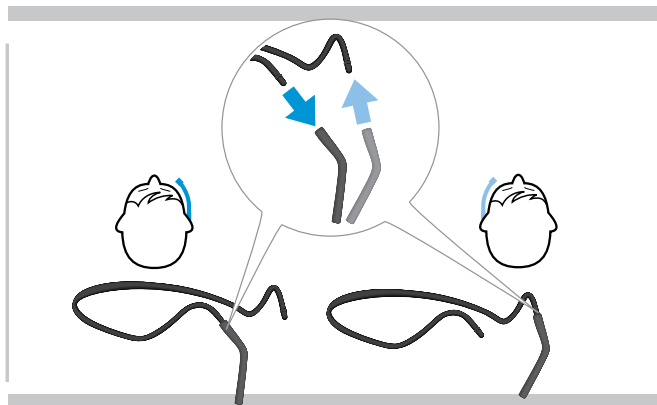
▷ ネックバンドの高さと角度を調整します。



▷ 最適なフィットのために必要に応じてイヤerpッドのサイズを交換します。



▷ 必要に応じて、チークスピーカーを回転させてマイクと口の間の距離を調整します。



▷ 必要に応じて装着する側を変えてください。

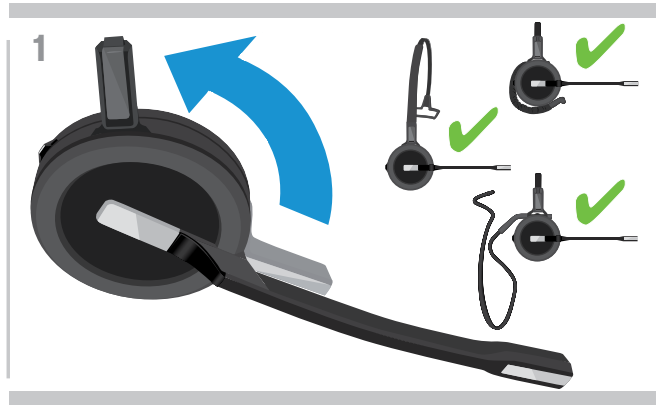
ヘッドバンド、イヤーフック、またはネックバンドの取り外し

注意

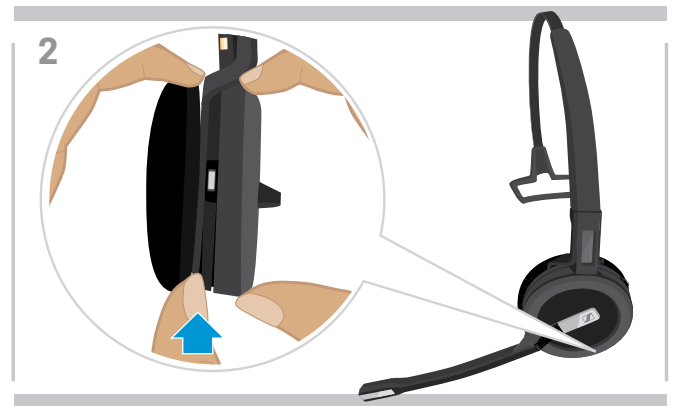
不適切な取扱をした場合は製品が損傷する恐れがあります！

取り外し中に充電ピンとマイクのブームが重なると破損する恐れがあります。

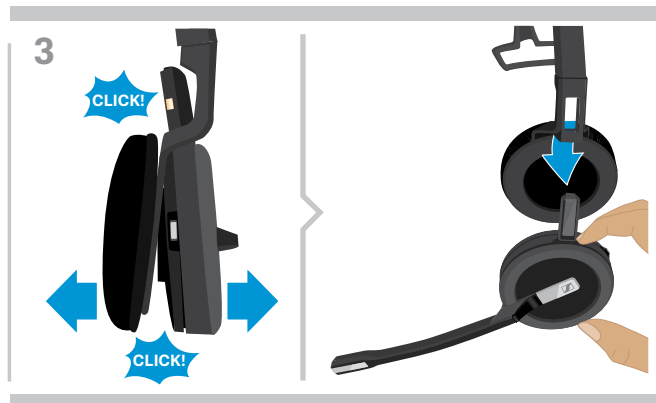
▷ 図示される通りに充電ピンを回転させます。



▷ ホルダーと充電ピンを回してマイクのブームから遠ざけます。



▷ 片手でヘッドセットを押さえます。
▷ もう一方の手の指をヘッドバンドまたは装着スタイルアダプターの窪みに滑り込ませます。

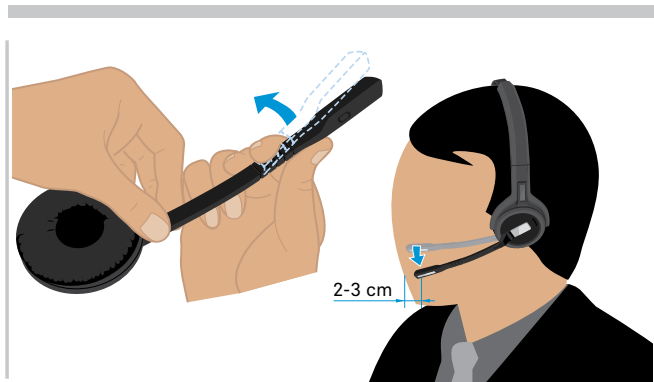


▷ 軽く引っ張るようにして、2つのユニットを離します。
ヘッドセットが緩んで、カチッと音が聞こえます。
▷ ホルダーからヘッドセットを外します。

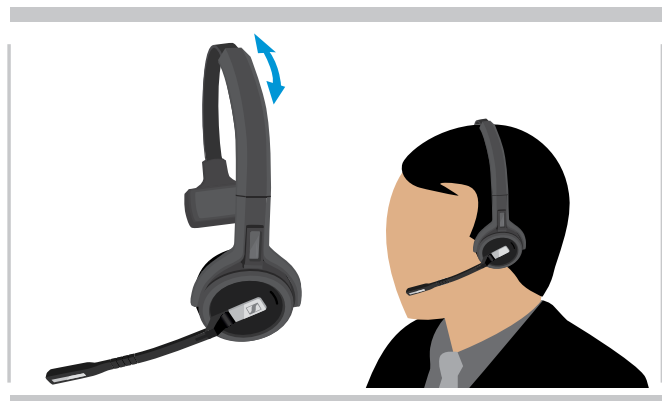
ヘッドセットSDW 30 HS | SDW 60 HSの組み立ておよび着用方法



▶ マイクのブームを回転させて装着する側を切り替えます。



▶ マイクが自分の口の端から約0.8インチ (2cm) の位置になるように、ブームを折り曲げ、回転させます。

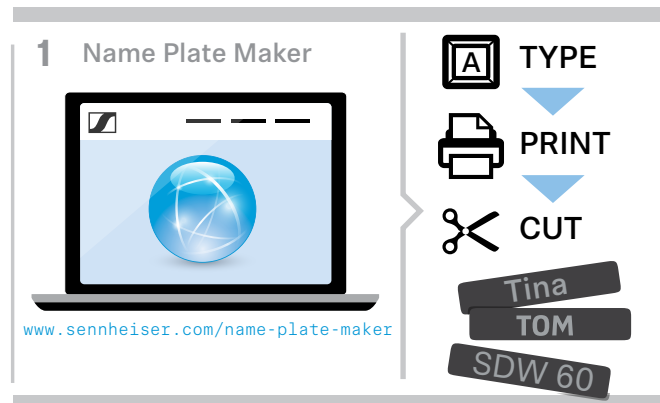


▶ イヤーパッドが右耳または左耳に快適にかぶさるように、ヘッドセットを調節します。



▶ イヤーパッドが快適に耳に収まるように、ヘッドセットを調整します。

ヘッドセットにラベルを貼る



- ▶ 弊社サイトで「Name Plate Maker」を開きます：
www.sennheiser.com/name-plate-maker。
- ▶ 指示に従ってネームプレートを作成してください。

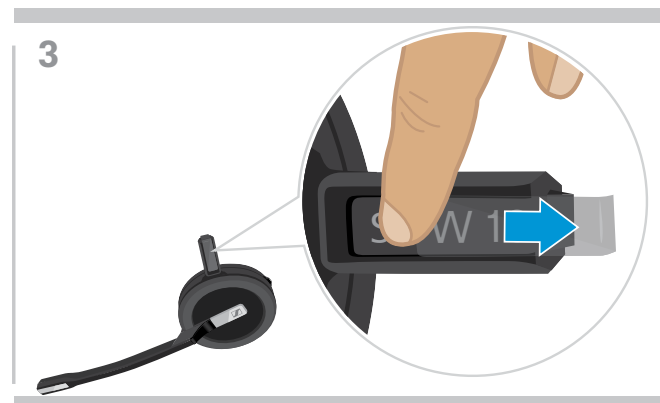


SDW 10 HS:

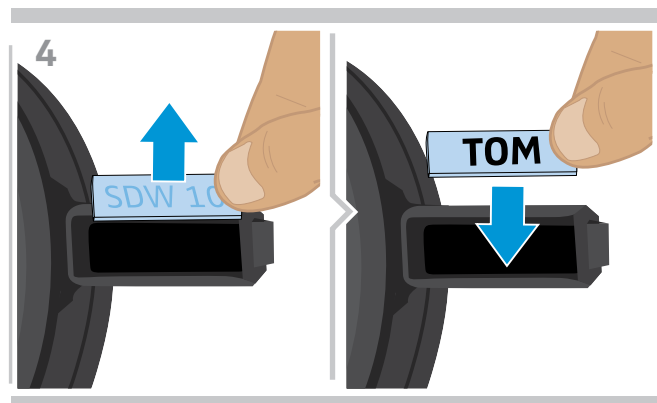
- ▶ ヘッドセットからヘッドバンドまたは装着スタイルアダプターを外します (23ページを参照)。

SDW 30 HS | SDW 60 HS:

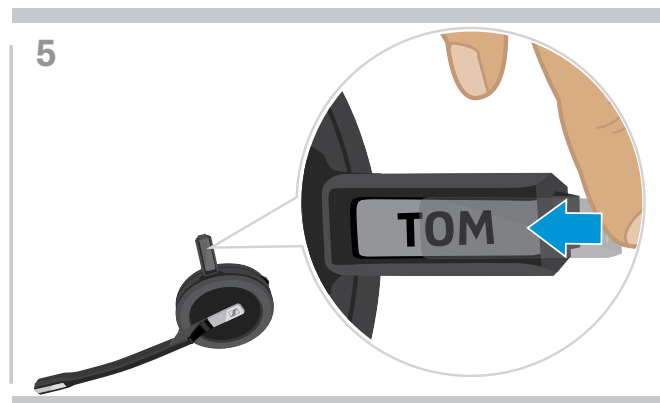
- ▶ 図のようにマイクのブームの付いたイヤークップを傾けます。



- ▶ カバーを外します。



- ▶ ネームプレートを交換します。



- ▶ カバーをホルダーにスライドさせます。



SDW 10 HS:

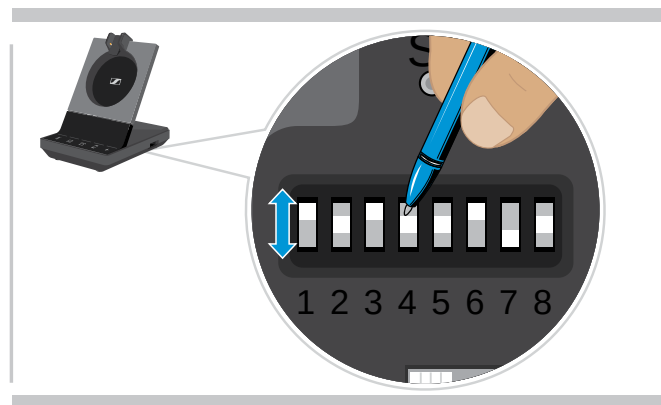
- ▶ ヘッドセットにヘッドバンドまたは装着スタイルアダプターを取り付けます (18ページを参照)。

ヘッドセットシステムを構成する

HeadSetup™ Pro または DIP スイッチを使用してヘッドセットシステムを構成する

HeadSetup™ Pro ソフトウェアまたはベースステーションの DIP スイッチを使用してヘッドセットシステムを調整することができます。HeadSetup™ Pro での変更は、DIP スイッチの設定に上書きされます。

HeadSetup™ Pro により追加の設定 (次章以降でアイコンと共に表示) を行うことができます。本ユーザーガイドに記載されている設定の他に、**HeadSetup™ Pro** では更に詳細な構成が可能です (ソフトウェアのオプションを参照)。



DIP スイッチでシステムを構成するには：

- ▷ 先の尖った物を使用して DIP スイッチを適切な位置に設定します。DIP スイッチを切り替えた後：
- ▷ 電源プラグと USB ケーブルを少しの間電源から外すことにより、システムを再起動します。

HeadSetup™ Pro を通じてシステムを構成するには：

- ▷ ベースステーションをお使いのコンピューターに接続して、必要なソフトウェア (13 ページを参照) をインストールします。
- ▷ **HeadSetup™ Pro** を起動します。
- ▷ メニューで「設定」をクリックし、ご使用の SDW 5000 デバイスを選択します。
- ▷ 適切な値に変更して保存します。

卓上電話の構成 – DIP スイッチ 1 と 2 – SDW 5 BS のみ

EHS (電子フックスイッチ) の付いた卓上電話がない場合は、HSL 10 II を使用することで、リモート通話管理が可能になります。

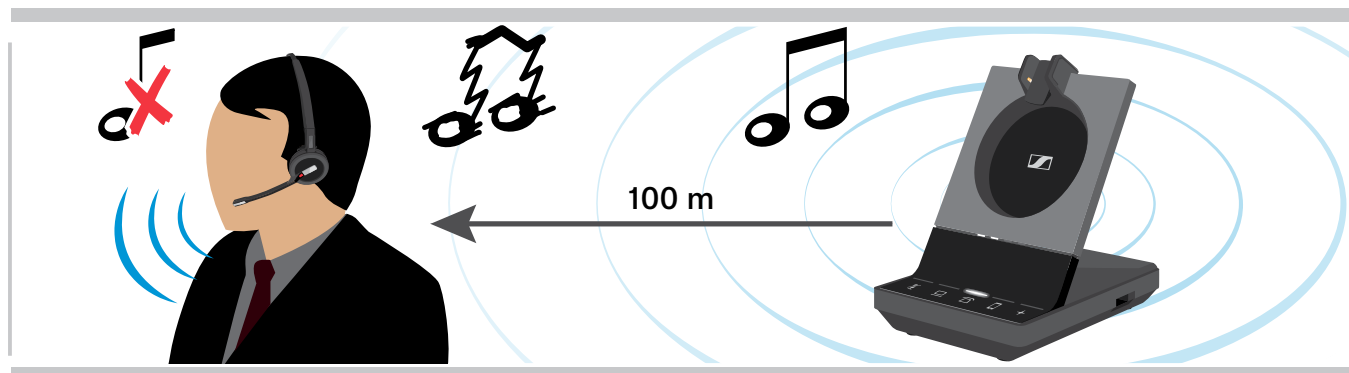


ポジションの切り替え	機能	ポジションの切り替え	機能
	DHSG モード DHSG 規格を使用する電話での通話管理		パナソニックモード パナソニック製電話での通話管理
	手動モード ハンドセットまたはハンドセットリフター HSL 10 II の手動操作*		自動リンク 自動的に確立されたヘッドセットと ベースステーションの無線リンク
	OptiPoint モード OptiPoint 電話での通話管理		MSH モード MSH 規格を使用する電話での通話管理
			モードが指定されていません

* 通話管理機能のない検出不能な電話の場合：卓上電話とのリンクを手動で確立するには、☎アイコンをタッチします。2回目にタッチすると、リンクが閉じ、他のオーディオソースでの通話が可能になります (☎/□)。

電波領域を調整します – DIP スイッチ 3

多くの DECT システムが操作されている空間内で動作すると、干渉が生じます。この場合は、DECT システムの電波領域を変更する必要があります。



ポジションの切り
替え

機能



遠距離
屋内で最大100 m



中距離
屋内で最大50 m

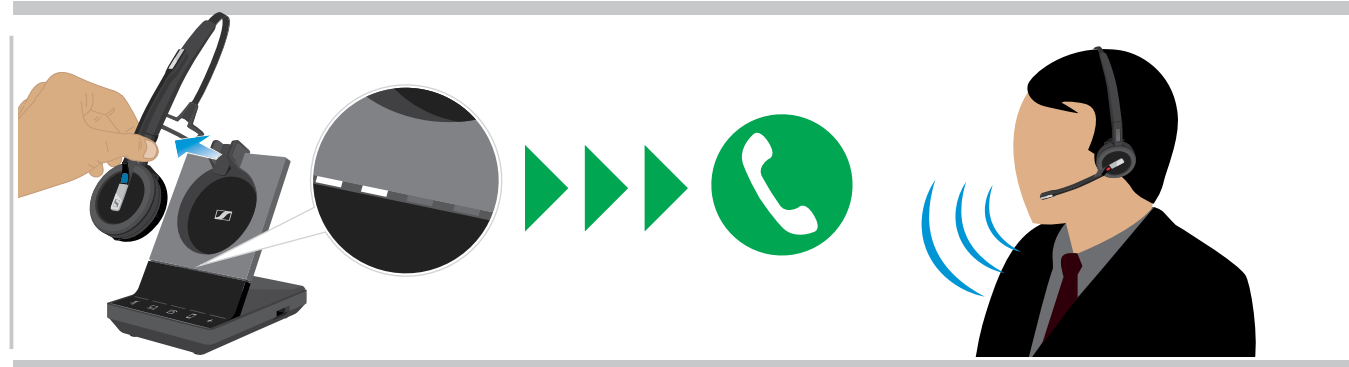
ポジションの切り
替え

機能



短距離
屋内で最大10 m。高密度環境での他の DECT デバイスとの干渉を最低限に抑えます。

システムによる着信への対応方法を変更する – DIP スイッチ 4

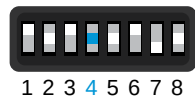


ポジションの切り
替え

機能



手動フック
ヘッドセットのフックボタンを使用して、通話に手動で応答します。



高速リンク
応答時間を短くするために、手動応答とベースステーションへのオーディオリンクが常に開いています。

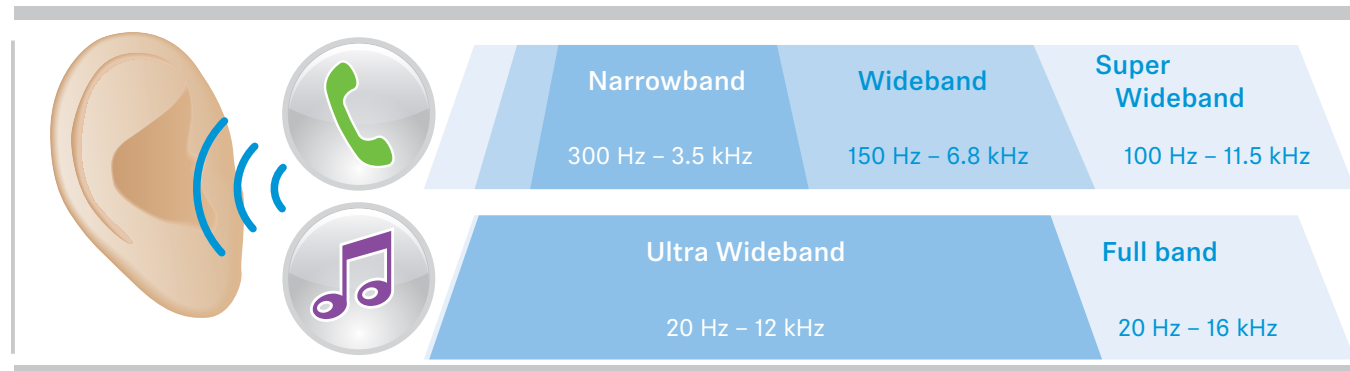
ポジションの切り
替え

機能



自動フック
ヘッドセットがドッキング解除されている時、着信に自動的に応答します。

音質を調整する - DIP スイッチ 5



ポジションの切り替え

機能



ベスト

- ・ 通話:スーパーワイドバンド
- ・ 音楽:フルバンド

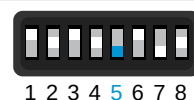


ベター

- ・ 通話:ワイドバンド
- ・ 音楽:ウルトラワイドバンド
- ・ 最大通話時間パフォーマンス

ポジションの切り替え

機能



ゲット

- ・ 通話:ナローバンド
- ・ 音楽:ウルトラワイドバンド
- ・ 最大バッテリーおよび密度パフォーマンス



ベター (モード 2)

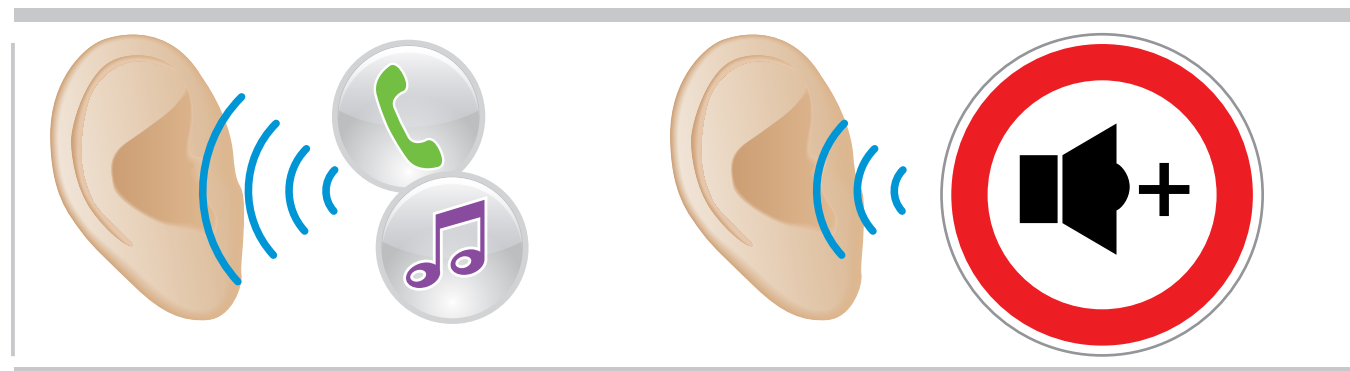
「ベター」に似ていますが、最大密度パフォーマンス用に最適化されています。



ナローバンド卓上電話

卓上電話の音質をナローバンドに変更し、他のデバイスでは「ベター」なサウンドを楽しむようにします

音量を制限する - DIP スイッチ 6



ポジションの切り替え

機能



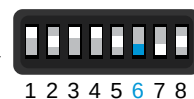
オフ



EU/US リミッター
2003/10/EC 指令に適合

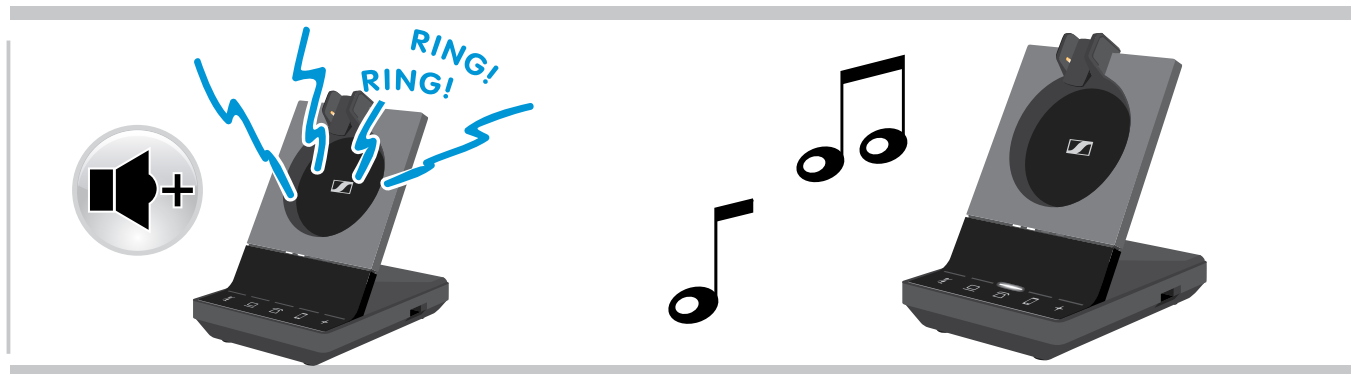
ポジションの切り替え

機能



AU リミッター
AS/ACIF G616:2006
指令に適合

ベースステーションの着信音と着信音の音量を調整する - DIP スイッチ 7 と 8

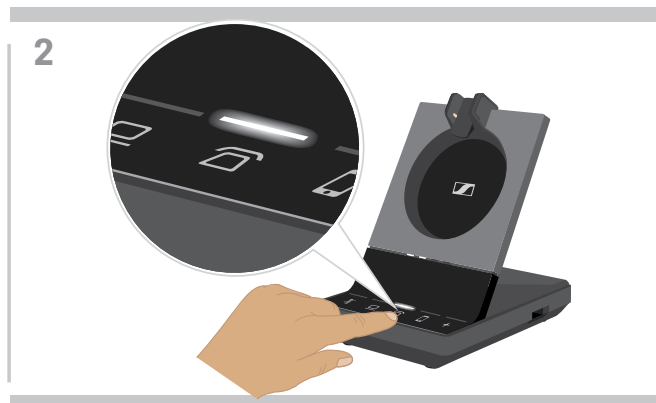


ポジションの切り替え	機能	ポジションの切り替え	機能
	着信音の音量 大		着信音 1 アクティブ
	着信音の音量 小		着信音 2 アクティブ
	着信音の音量 オフ		着信音 3 アクティブ
	着信音の音量 ・ 非常に小さい ・ 中		

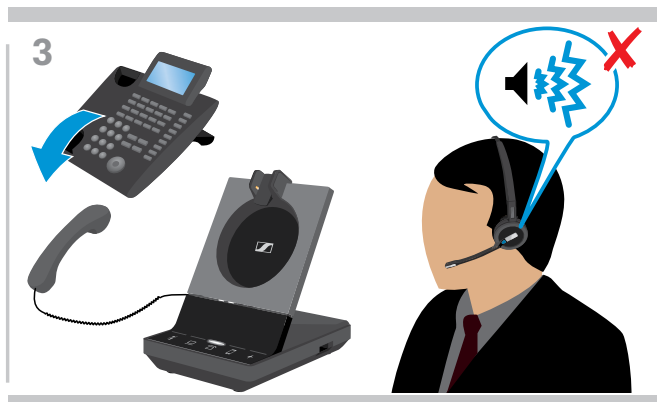
ABC スイッチを使用して卓上電話のオーディオシグナルを調整する – SDW 5 BS のみ



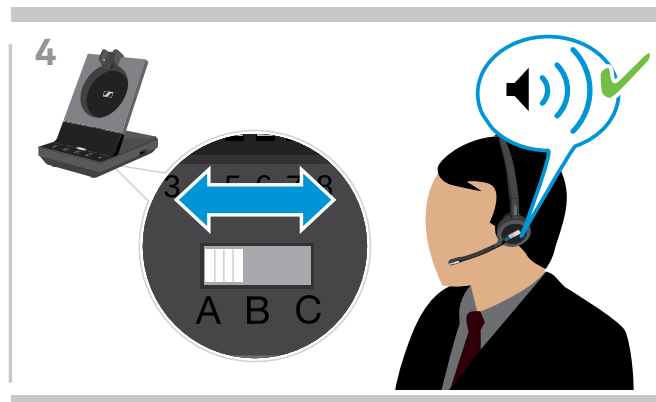
▶ ヘッドセットを装着します。



▶ ベースステーションの ABC ボタンを押します。



▶ ヘッドセットを持ち上げます。
発信音が聞こえます。

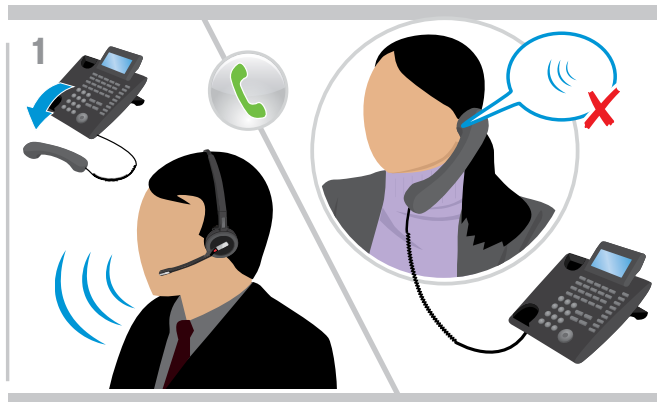


▶ ヘッドセットで発信音をはっきりと聞き取れるように、ABC スイッチを AB または C の位置に設定します。

伝送音量の調整

接続された卓上電話のマイク音量を調節する - SDW 5 BS のみ

初期設定では、マイクの音量は4に設定されています。この設定はほとんどの電話に適しています。



▶ マイクの適切な感度設定 (34 ページを参照) をみつけるのを手伝ってくれる人に電話します。



▶ マイクの音量調節ダイヤルを回して、相手が快適な音量であなたの声を聞けるように調節します。

接続したコンピューターのマイク音量を調整する

- ▶ 利用可能な場合は、ソフトフォンの設定で「マイク感度を自動調整する」オプションを有効にします。
- ▶ 相手が快適な音量であなたの声を聞けるように、お使いのオペレーティングシステムでマイク感度を調整します (オペレーティングシステムのヘルプ 機能を参照してください)。

ヘッドセットの準備と使用

音量の調整

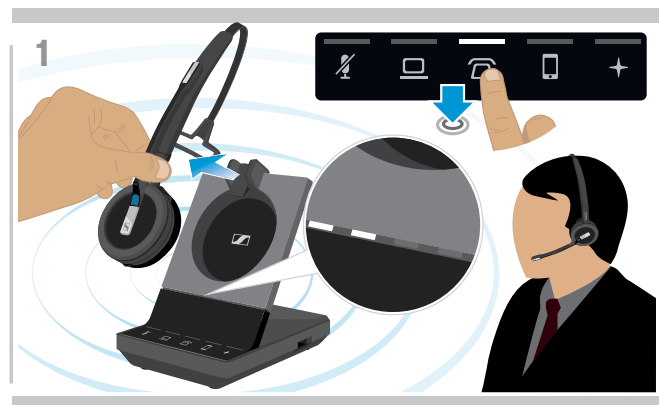


注意

大音量により聴覚を損なう恐れがあります！

長時間大音量で聞き続けると、長期的な聴覚障害につながる恐れがあります。

- ▶ ヘッドセットを装着する前に音量を低レベルに設定してください。
- ▶ 大音量への連続的な曝露は避けてください。



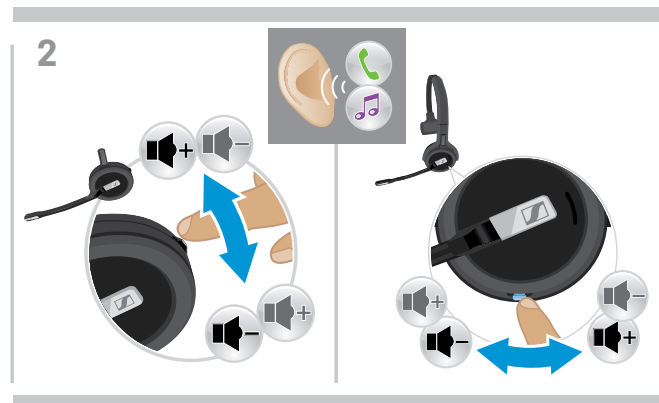
ヘッドセットの2つの音量設定を別々に調整できます：

- ・ スピーカー音量, オーディオ信号
- ・ 着信音、ビープ音および音声プロンプトの音量

音量ボタンの向きは入れ替えられます。

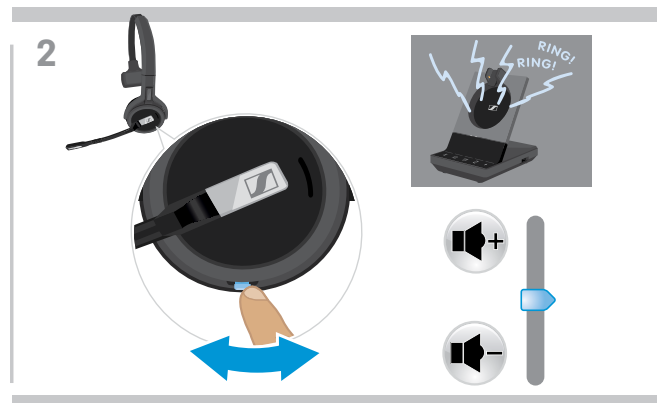
- ▶ ヘッドセットを装着します。
- ▶ オーディオソースを選択します。
対応するLEDが点灯します。

オーディオ信号の音量調整



- ▶ 通話 (35ページを参照) または音楽の再生 (44ページを参照)。
- ▶ ミュート&音声ボタンを図のように動かし、音量を調整します。

着信トーン、ビープ音、音声プロンプトの音量調整



- ▶ ヘッドセットがアイドルモードになっていることを確認してください (通話中や音楽の再生中でない状態)。
- ▶ ミュート&音声ボタンを図のように動かし、音量を調整します。

最小音量または最大音量になると、ヘッドセットに「Volume min」または「Volume max」の音声プロンプトがアナウンスされます。音声プロンプトが無効になっている時は、代わりにヘッドセットからビープ音が聞こえます。

サイドトーンの調整

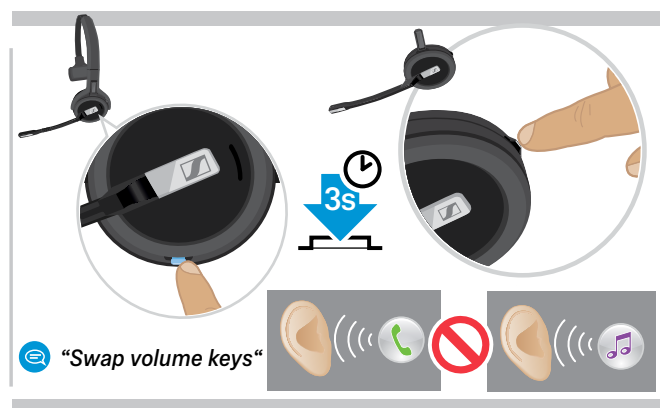


SDWヘッドセットのサイドトーンは、HeadSetup™ Proで調整できます。

音量ボタンの方向を切り替える

たとえば、ヘッドセットをもう1つの耳に装着したい場合に、音量ボタンの上下機能の方向を変えることができます。

SDW 10 HS: モーションセンサーが有効になっている場合は、装着する側を変えると、ボリュームキーの方向が自動的に切り替わります。



- ▶ ヘッドセットがアイドルモードになっていることを確認してください(通話中や音楽の再生中でない状態)。
- ▶ ミュート & 音量ボタンをプレス アンド ホールド(長押し)します。ボタンの音量上下機能の方向が切り替わります。ヘッドセットに「Swap volume keys」の音声プロンプトがアナウンスされます。

SDW 60 HS:

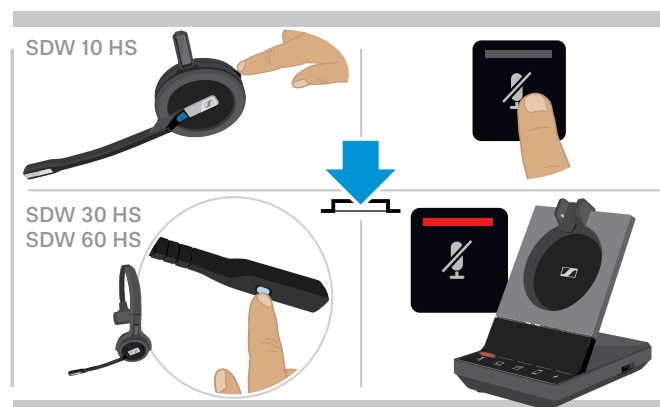
ステレオチャンネルの左右も変更されます。



この設定は、HeadSetup™ Pro から変更することもできます。

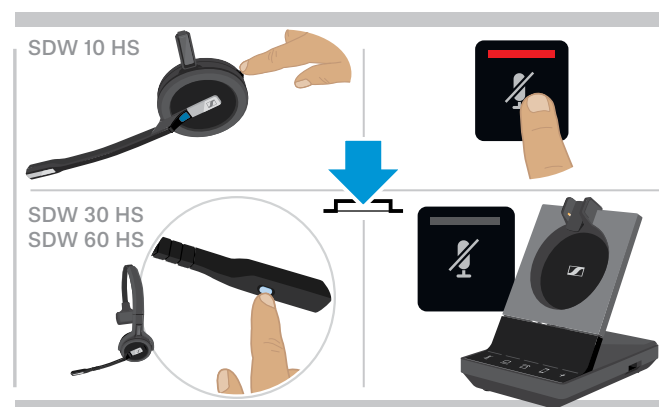
ヘッドセットのマイクをミュートにする

マイクをミュートにする



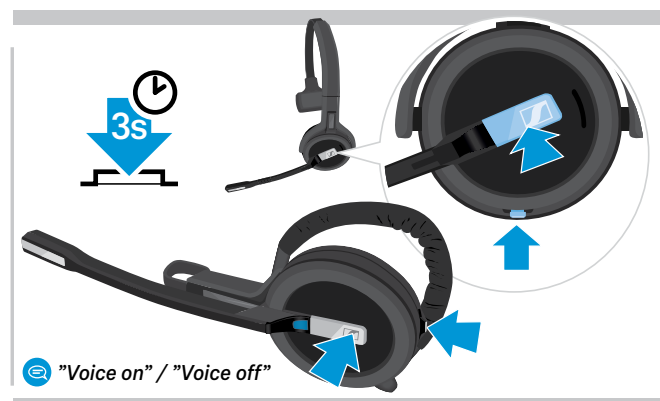
- ▶ ヘッドセットのミュートボタンを押すか、または SDW 30 HS | SDW 60 HS のブームアームのミュートボタンを押す、またはベースステーションのミュートボタン  をタッチします。マイクがミュートになり、 LED が赤色に点灯します。「Mute on」の音声プロンプトがアナウンスされます。

マイクのミュートを解除する



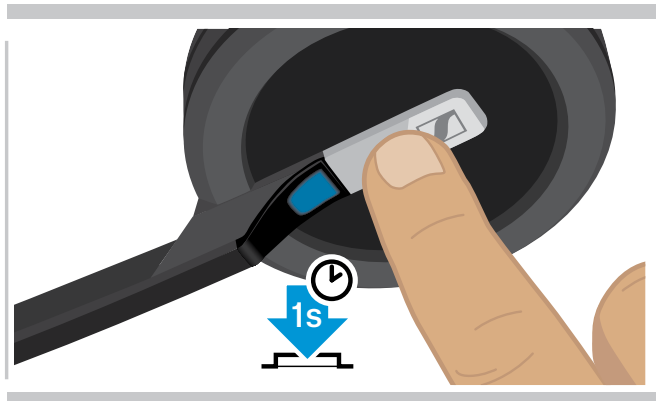
- ▶ ヘッドセットのミュートボタンを押すか、または SDW 30 HS | SDW 60 HS のブームアームのミュートボタンを押す、またはベースステーションのミュートボタン  をタッチします。ミュートがキャンセルされ、 LED がオフになります。「Mute off」の音声プロンプトがアナウンスされます。

音声プロンプトを有効/無効にする



- ▶ ヘッドセットをベースステーションから外します。
- ▶ フックボタンとミュートボタンを同時に長押しし、ピープ音が2回したらボタンを離します。音声プロンプトが有効/無効になり、ヘッドセットに「Voice on」または「Voice off」の音声プロンプトがアナウンスされます。音声プロンプトが無効になっている場合は、ヘッドセットからピープ音が鳴ります。

バッテリーの寿命を確認する



通話中または音楽再生中を除き、いつでもバッテリー残量に関する情報を取得できます。

- ▶ フックボタンを1秒間押します。
バッテリー残量がアナウンスされます。

ベースステーションのバッテリー LED でも、ヘッドセットのバッテリー残量をいつでも確認できます。

アナウンスされる情報

バッテリー残量

「More than eighty percent battery left」
(バッテリー残量 80% 以上)

> 80%

「More than sixty percent battery left」
(バッテリー残量 60% 以上)

> 60%

「More than forty percent battery left」
(バッテリー残量 40% 以上)

> 40%

「More than twenty percent battery left」
(バッテリー残量 20% 以上)

> 20%

「Less than twenty percent battery left」
(バッテリー残量 20% 未満)

< 20%

「Recharge headset」
(ヘッドセットを充電してください)



通話可能時間が15分未満、自動音声プロンプト

- ▶ ヘッドセットを充電してください (46ページを参照)。

DECT または Bluetooth の通信圏外に出る場合



オフィスビルでは、DECT ヘッドセットとベースステーションの通信範囲は最大100m です。無線範囲の調整に関する詳細は 27 ページをご覧ください。

Bluetooth ヘッドセットとベースステーションの通信範囲またはスマートフォンとベースステーション/ドングルの通信範囲はデバイスにより異なります。

通話中に音質が低下した場合、または接続が完全に切れた場合は、ヘッドセットに「device disconnected」の音声プロンプトがアナウンスされます。ヘッドセットの LED がオフになり、ベースステーションの +LED が赤色に点灯します。



- ▶ ベースステーションの無線範囲を再入力して通話を再開します。

お使いのソフトフォンで通話管理がサポートされている場合は、無線圏外に出てから60秒後に通話が自動的に終了します。

ヘッドセットシステムを使用して電話を掛ける

以下の章では、接続するデバイスの最も重要な機能について説明します。いくつかの機能はベースステーションの構成に依存します (26ページを参照)。

複数の通話またはヘッドセットを組み合わせて電話会議を設定する方法については、40ページの「電話会議を設定する」の章を参照してください。

オプションの UI 10 BL が接続されている場合は (17ページを参照) ビジーライトによって現在のステータスが表示されます (8を参照)。

通話の準備 - 初期設定



通話コントロール – ヘッドセットから通話を直接管理します：

- ▷ ご使用のソフトフォンがサポートされているか、弊社ウェブサイト www.sennheiser.com でご確認ください。
- ▷ 通話コントロールをサポートするために、必要に応じて、弊社の無料ソフトウェアをインストールしてください。



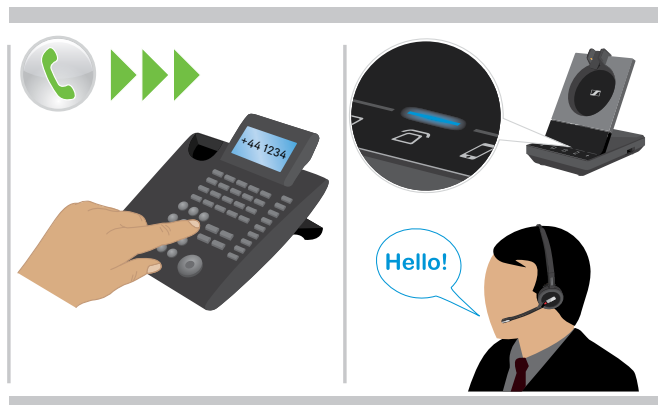
- ▷ BT-D 800 USB ドングルがスマートフォンとペアリングされ、接続されていることを確認します (14ページを参照)。

オーディオソースを選択する – 固定電話/ コンピューター/ 携帯電話



- ▷ ベースステーションで選択したいオーディオソースのアイコンをタッチします ☎/💻/📱。
- 選択したオーディオソースがフォーカスされ、LEDライトが白く点灯します。
- 例えば、☎がフォーカスされている場合に、フックボタンを押すと (または ☎ アイコンをもう一度タッチすると) 固定電話から通話が発信されます。変更しない限り、固定電話がデフォルトの発信用オーディオソースとなります。

電話を掛ける



- ▷ ヘッドセットを装着します。
- ▷ ヘッドセットのフックボタンを押すか **または** ベースステーションのアイコンをタッチします：
 - コンピューター □: ソフトフォンを起動します
 - 卓上電話 ☎: ダイヤルトーンを有効化します*
 - 携帯電話 ☎: 音声アシスタントを初期化します
- ▷ 掛けたい番号をダイヤルするか、または連絡先を選択します。
接続が確立しました。ベースステーションのLED ☎/□/☎ が青色に点灯します。

*通話制御機能のない検出不能な電話の場合 (手動モード、26ページを参照)：

- ▷ 卓上電話とのリンクを手動で確立するには、☎アイコンをタッチします。2回目にタッチすると、リンクが閉じ、他のオーディオソースでの通話が可能になります (□/☎)。

通話への応答/通話の拒否

ヘッドセット、ベースステーション*、卓上電話*、または携帯電話* (有効になっている場合) から呼び出し音が聞こえます。ベースステーションのLED ☎/□/☎ が青く点滅します。



通話に応答する*

- ▷ オーディオソースから通話に応答するか、**または** ヘッドセットのフックボタンを押すか、**または** 点滅している LED の ☎/□/☎ アイコンをタッチします。接続が確立しました。LED の点滅が止まり、青く点灯します。

i SDW ヘッドセットが充電のためにドッキングされている間は、接続された Bluetooth/USB ヘッドセットまたはスピーカーフォンで着信に応答することができます。

*自動応答機能を使用するには、「自動フック」(27ページを参照) またはモーションセンサー (45ページを参照) を有効化してください。



着信を拒否する

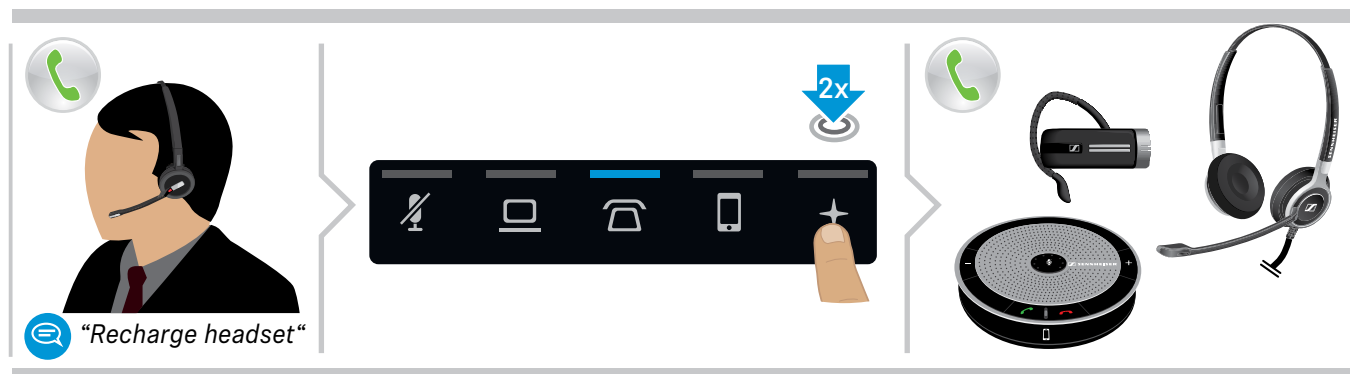
- ▷ 点滅している LED の ☎/□/☎ アイコンを1秒間押すか、**または** ヘッドセットのフックボタンを1秒間押します。「Call rejected」の音声プロンプトがアナウンスされます。LED の点滅が止まり、白く点灯します。

接続したデバイスに通話を転送する

オプションの Bluetooth/USB ヘッドセットまたはスピーカーフォンに通話を転送する

たとえば、ヘッドセットのバッテリーが切れそうな時に、現在の通話を転送するには：

- ▶ ベースステーションの +アイコンをダブルタップします。
通話が Bluetooth/ USB ヘッドセットまたはスピーカーフォンに転送されます。



現在の通話を SDW ヘッドセットに再度切り替えるには：

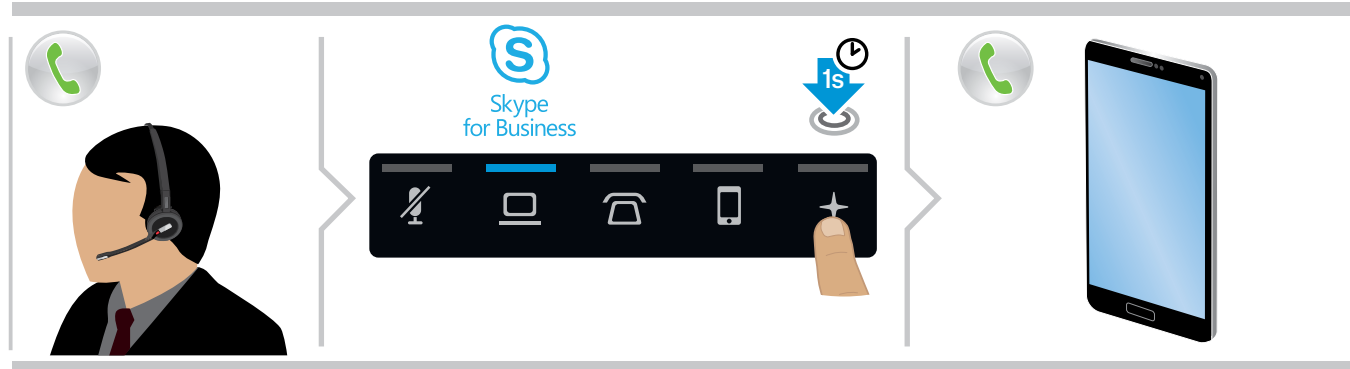
- ▶ SDW ヘッドセットをベースステーションからドック解除します。
通話が SDW ヘッドセットに自動的に転送されます

SDW ヘッドセットがベースステーションからすでにドック解除されている場合は：

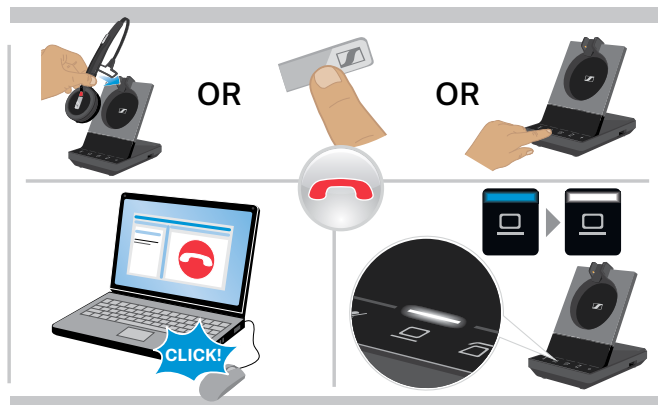
- ▶ ベースステーションの +アイコンをダブルタップします。
通話が SDW ヘッドセットに転送されます。

ソフトフォンの通話を携帯電話に転送する - 「Skype for Business」のみ

- ▶ 「Skype for Business」のオプションメニューで携帯電話番号を設定します。詳細については「Skype for Business」サポートウェブサイトをご覧ください。
- ▶ スマートフォンに通話を転送するには、ベースステーションのアイコン + を1秒間タッチします。



通話終了



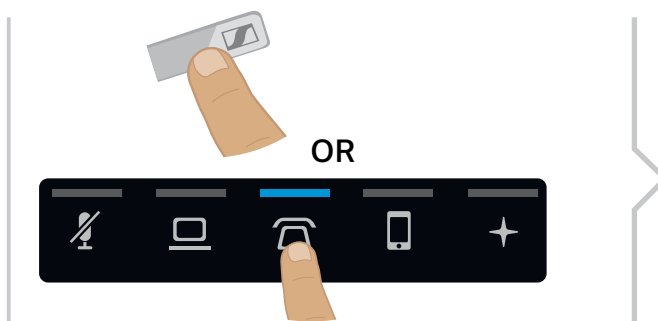
- ▶ オーディオソースから通話を終了します。または
- ▶ ヘッドセットをベースステーションの充電用クレイドルに乗せるか、または
ヘッドセットのフックボタンを押すか、または
ベースステーションの ☎/📞/📠 アイコンをタッチします。

通話が終了しました。ベースステーションの LED ライトが白く点灯します。

相手が電話を切ると、あなたのオーディオソースとヘッドセットが自動的に、次の着信を受けられる状態になります。

再ダイヤル

- ▶ ベースステーションの対応する ☎/📞/📠 アイコンまたはヘッドセットのフックボタンをダブルタップします。



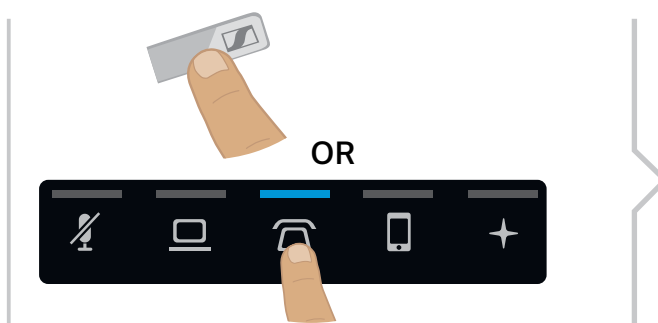
- 

 最後にかけた番号にリダイヤルする
 ☎ "Redialing"
- 

 リダイヤルを取り消す

1つのアクティブコールを保留にする方法

- ▶ ベースステーションの対応する ☎/📞/📠 アイコンまたはヘッドセットのフックボタンをダブルタップします。



- 

 通話を保留にする
 ☎ "Call held"
- 

 通話を再開する
 ☎ "Call unheld"

複数の通話を管理する - 2つのオーディオソースからの2つの通話

2番目の通話への応答/通話の拒否

通話中に2台目のデバイスに着信が入った場合は、対応する ㊦/㊧/㊨ LED が点滅します。

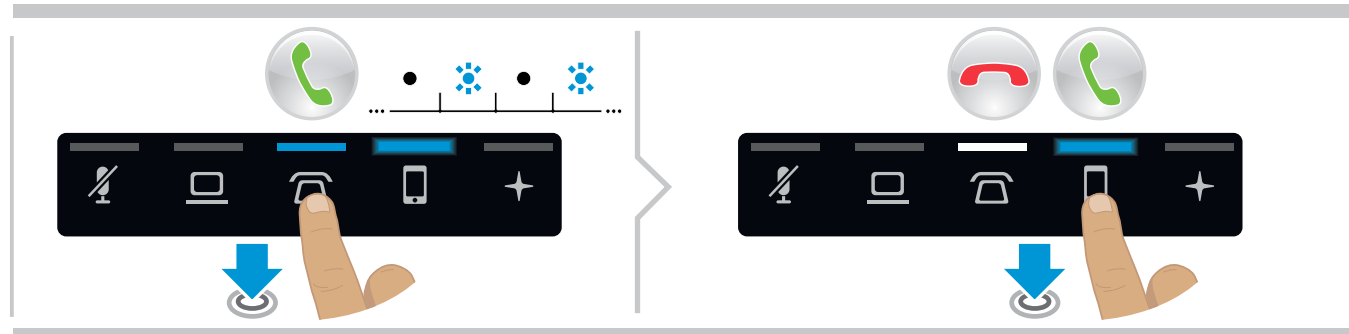
- ▶ ベースステーションの点滅しているLED に対応する ㊦/㊧/㊨ アイコンをタッチするか、
またはヘッドセットのフックボタンをダブルタップします。



現在の通話を終了し、着信に応答する

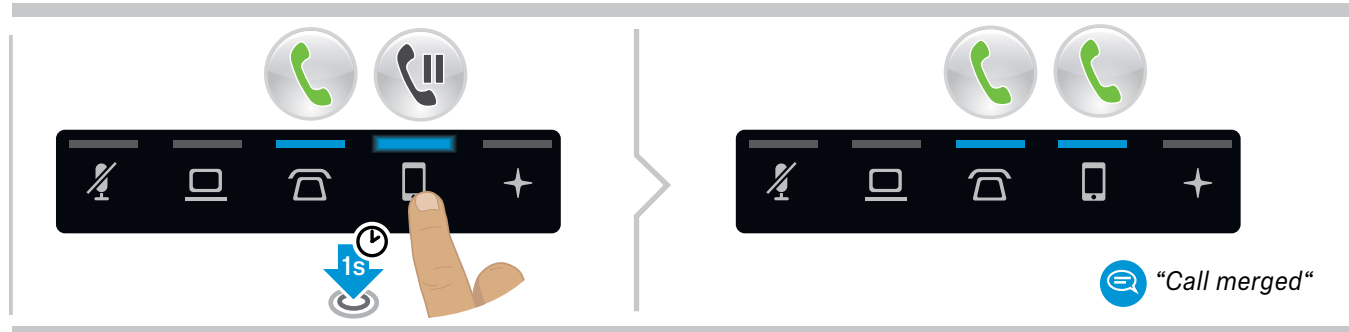
通話中に2台目のデバイスに着信が入った場合は、対応する ㊦/㊧/㊨ LED が点滅します。

- ▶ ベースステーションの青く点灯しているLEDの ㊦/㊧/㊨ アイコンをタッチして現在の通話を終了します。
▶ 点滅しているLEDに対応する ㊦/㊧/㊨ アイコンをタッチして着信に応答します。



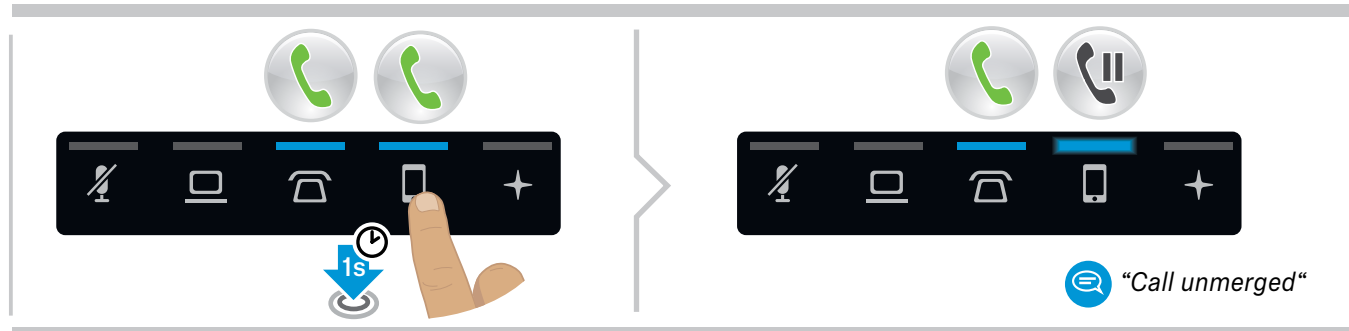
保留中の通話を現在の通話に結合する - 小会議

- ▷ 保留中の通話のアイコン ㊦/㊧/㊨ を1秒間タッチします (結合が完了すると LED の点滅が止まります)。



小会議から通話を結合解除して保留にする

- ▷ 保留にしたい通話のオーディオソースのアイコン ㊦/㊧/㊨ を1秒間タッチします (結合解除した通話の LED が点滅し始めます)。

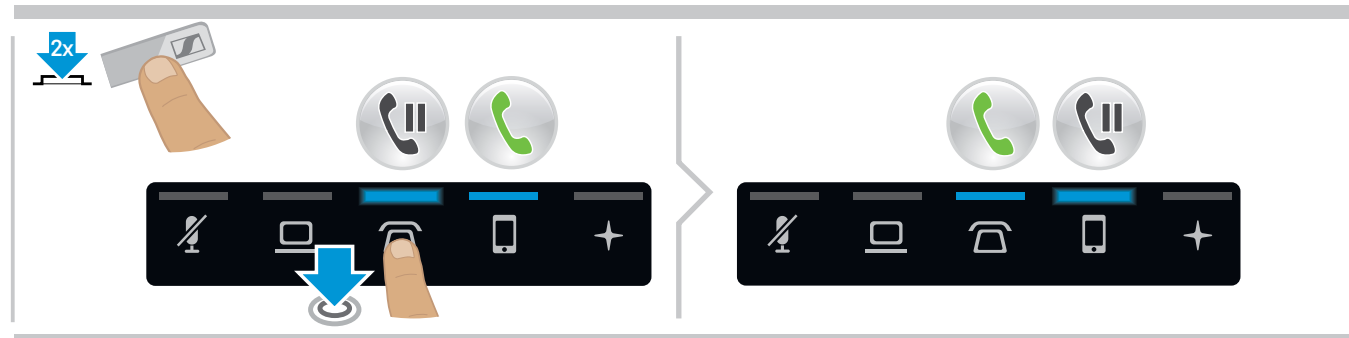


現在の通話と保留中の通話を切り替える

- ▷ 保留中の通話のアイコン ㊦/㊧/㊨ (点滅している LED) をタップするか、
またはヘッドセットのフックボタンをダブルタップします。

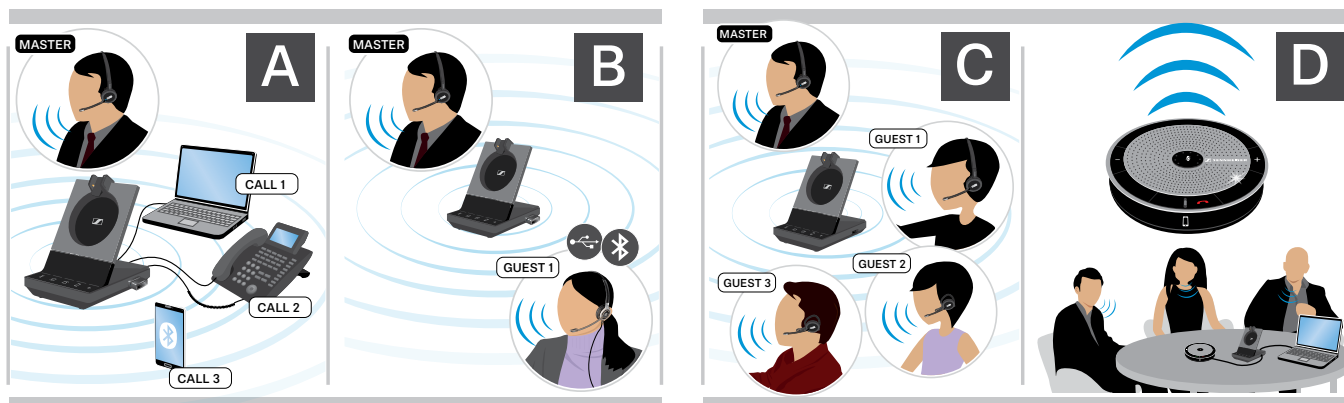
2つの通話と同じソースからのものである場合：

- ▷ 通話間で切り替えるには、現在の通話の ㊦/㊧/㊨ アイコンをダブルタップします。



電話会議を設定する

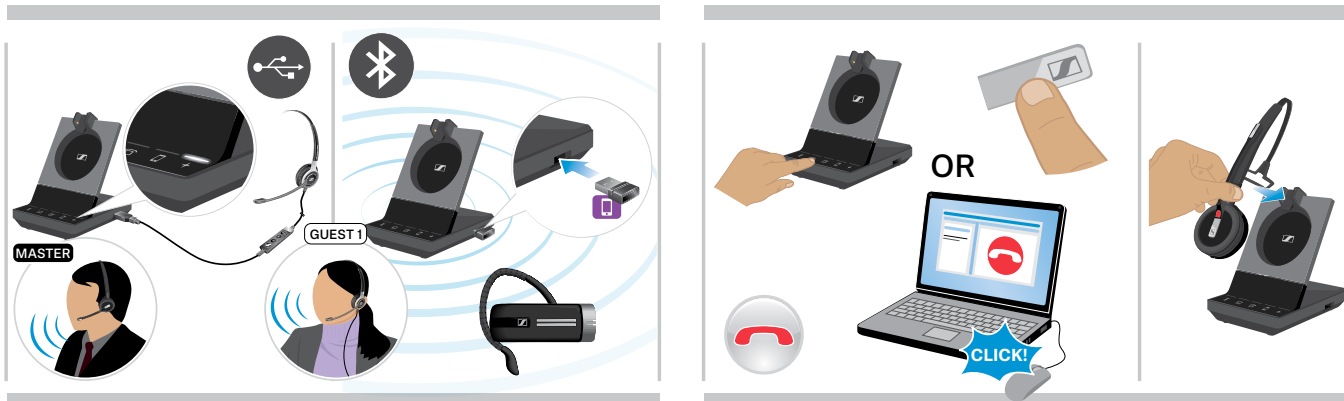
ベースステーションでは次のことが可能です：



- **A** 接続されたオーディオソースからの最大3つの通話を結合して1つの電話会議にする (前章を参照)。
- **B** SDW 5000 ヘッドセット1台と追加の Sennheiser USB ヘッドセットまたは Bluetooth ヘッドセット1台で、**小会議**を設定する、
- **C** 最大4台までの SDW 5000 ヘッドセットを使用して**大会議**を設定する、
- **D** Sennheiser **USB スピーカーフォン** (SP 20など)を使用して会議を設定する。

すべての会議オプションを組み合わせることができます。例えば複数の SDW ヘッドセットと1台の Bluetooth または USB デバイスを接続して、2つのオーディオソースを結合した大会議を設定することが可能です。

USB または Bluetooth ヘッドセットを通じて小会議を設定する



- ▷ マスターヘッドセットを装着します。
- ▷ USB ヘッドセットまたは Bluetooth ヘッドセット (16/17ページを参照) をベースステーションに接続します。
LED + ライトが白く点灯します。
- ▷ ゲストヘッドセットを追加するには、マスターヘッドセットのフックボタンを10秒以内に押します。
ゲストヘッドセットに「**Conference pairing successful**」の音声プロンプトがアナウンスされます。
- ▷ 他の参加者に電話します (34ページを参照)。

通話を終了し、ただし**会議は継続**する場合は：

- ▷ オーディオソース、ベースステーション、またはマスターヘッドセットから通話を終了します。
会議参加者は全員接続した状態に留まり、彼らと新しい通話を開始することができます。

通話と会議を終了するには：

- ▷ オーディオソース、ベースステーション、またはマスターヘッドセットから通話を終了します。
- ▷ マスターヘッドセットをベースステーションのマグネット式ホルダーに乗せると、会議参加者全員が接続解除されます。

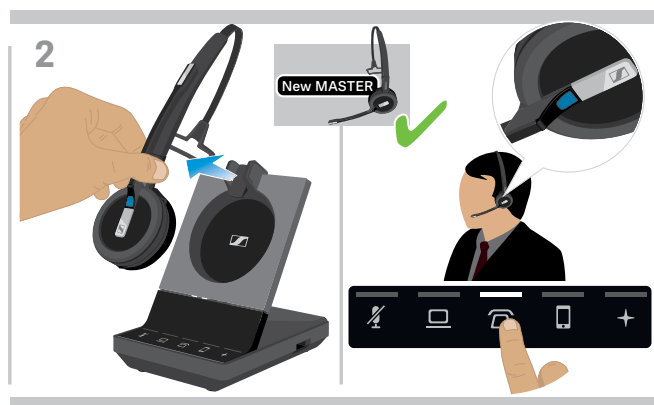
最大4つの SDW シリーズヘッドセットを使用して、大会議を設定する

ヘッドセットシステムを使用して、4台までの SDW 5000 ヘッドセットで電話会議を行うことができます。最初にペアリングされたヘッドセット(マスター)を使用して通話を管理します。

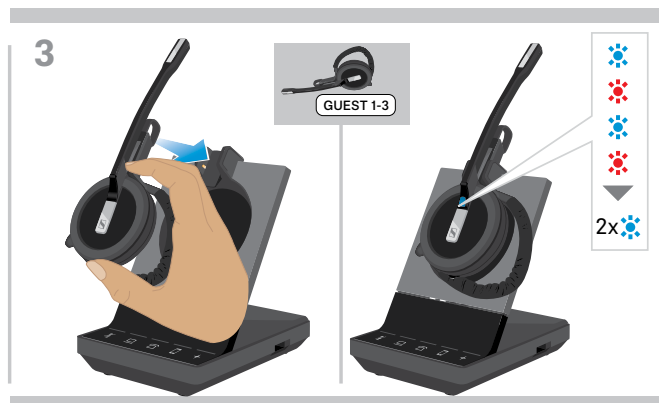


新しいマスターヘッドセットを使用したい場合は：

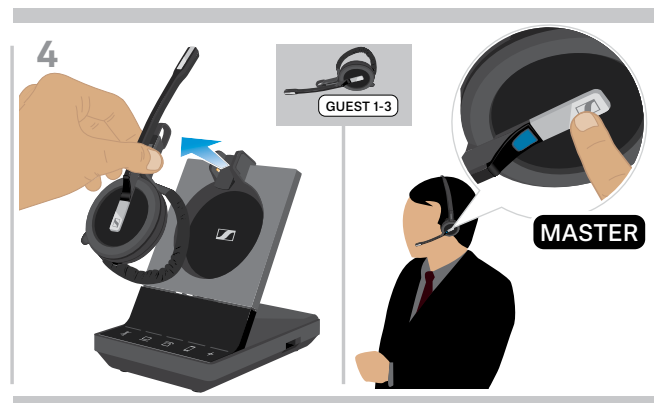
- ▶ ヘッドセットをベースステーションに乗せます。ベースステーションへのリンクが確立するまで、ヘッドセットの LED が青と赤に交互に点滅します。ヘッドセットの LED が青く2回点滅します。



- ▶ マスターヘッドセットを装着します。
- ▶ 必要に応じてオーディオソースを変更します (34ページを参照)。



- ▶ ゲストヘッドセットをマスターヘッドセットのベースステーションに乗せながら、ミュート & 音量ボタンをプレス アンド ホールドします。ベースステーションへのリンクが確立するまで、ヘッドセットの LED が青と赤に交互に点滅します。ヘッドセットの LED が青く2回点滅します。マスターヘッドセットに「Conference pairing」の音声プロンプトがアナウンスされます。



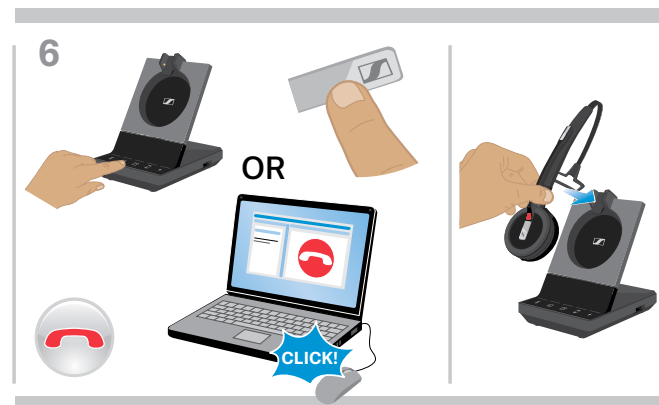
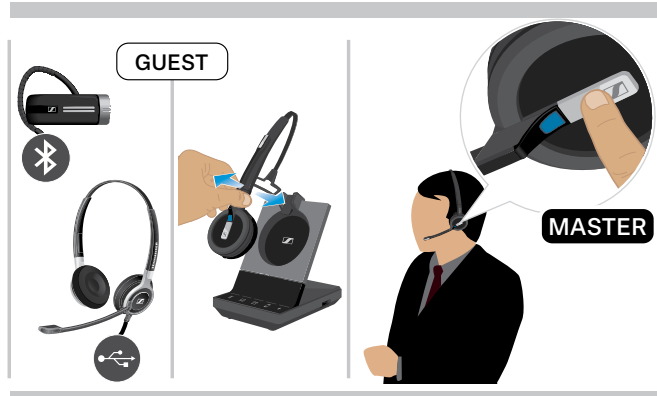
- ▶ ゲストヘッドセットをベースステーションから外します。
- ▶ ゲストヘッドセットを電話会議に追加するには、マスターヘッドセットのフックボタンを10秒以内に押します。ゲストヘッドセットに「Conference pairing successful」の音声プロンプトがアナウンスされます。
- ▶ 必要に応じてゲストヘッドセットを追加します。



- ▶ 他の参加者に電話します。
ベースステーションのLED ㊦/㊧/㊨ が青色に点灯します。
ゲストはゲストヘッドセットのフックボタンを押すことで、通話から抜けることができます。

i 「イーザーペアリング」その後、他のベースステーションでゲストヘッドセットを使用する場合は、ゲストヘッドセットを他のベースステーションに乗せます。リンクが確立するまで、ヘッドセットの LED が青と赤に交互に点滅します。

マスターヘッドセットとの通話中にゲストヘッドセットを追加する



通話を終了し、ただし会議は継続する場合は：

- ▶ オーディオソース、ベースステーション、またはマスターヘッドセットから通話を終了します。
同じ会議の別の参加者と新しい通話を開始することができます。

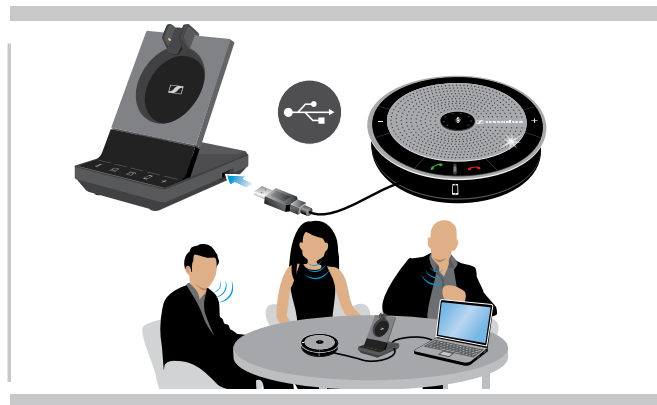
通話と会議を終了するには：

- ▶ オーディオソース、ベースステーション、またはマスターヘッドセットから通話を終了します。
▶ 会議を終了するには、マスターヘッドセットをベースステーションのマグネット式ホルダーに乗せます。

- ▶ USB ヘッドセット または Bluetooth ヘッドセット (16/17ページを参照) をベースステーションに接続するか、または
ゲスト SDW 5000 ヘッドセットをドッキングおよびドッキング解除します (ミュートボタンを押す必要はありません)。
▶ ゲストヘッドセットを追加するには、マスターヘッドセットのフックボタンを10秒以内に押します。
「Conference pairing successful」の音声プロンプトがアナウンスされます。
ゲストはゲストヘッドセットで通話を終了することで、会議から抜けることができます。

Sennheiser USB スピーカーフォンを使用して電話会議を行う

SDW ヘッドセットをベースステーションにドッキングすると、スピーカーフォンがマスターになります。SDW ヘッドセットをドッキング解除すると、スピーカーフォンはゲストとして機能します。



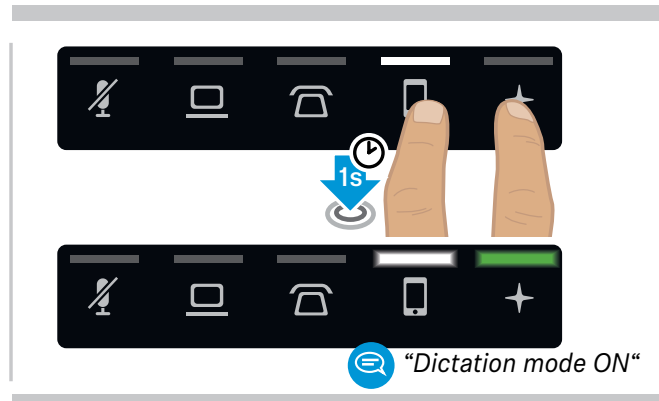
- ▶ スピーカーフォンをベースステーションの USB ソケットに接続します。
LED + ライトが白く点灯します。
▶ オーディオソースを選択します (34ページを参照)。
▶ 他の参加者に電話します。
オーディオソースに応じて、ベースステーションの LED ㊦/㊧/㊨ が青色に点灯します。
▶ オーディオソースまたはスピーカーフォンで通話を終了し、USB ソケットからスピーカーフォンのプラグを抜きます。

ディクテーションモードを使用する

ディクテーションモードで卓上電話または携帯電話の通話を録音する

SDW 5000 には、コンピューターのアプリケーションを通じて通話を録音するための、ディクテーションモードがあります。このモードでは、卓上電話または携帯電話での通話を録音できるよう、マイクがコンピューターに対して常に開かれた状態になっています。

ディクテーションモードをオンにするには:



- ▶ システムがアイドルモードになっている（通話中または音楽再生中ではない）ことを確認します。
- ▶ ベースステーションの ☎ アイコンまたは ☐ アイコンと + アイコンを同時に1秒間タッチします。
ディクテーションモードがオンになります。「**Dictation mode ON**」の音声プロンプトがアナウンスされます。ベースステーションの +LED が緑色に点灯し、選択したオーディオソースの ☎ または ☐ LED が白く点灯します。

ヘッドセットをドッキングしても、ディクテーションモードはオンのままになります。

通話は選択したオーディオソース以外からは発信できず、またこれらのオーディオソースからの着信のみを受けることができます。その他のオーディオソースは無効になります。

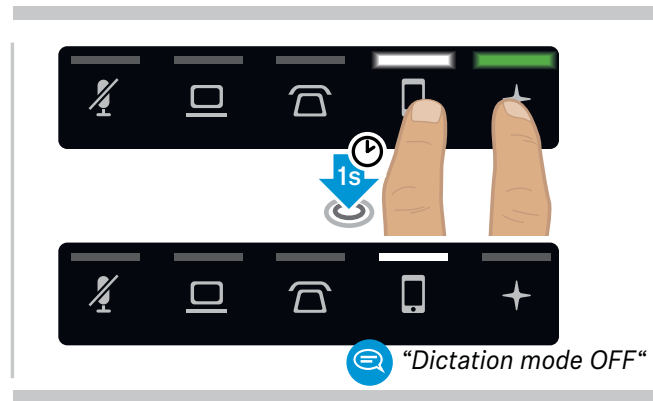
非アクティブなソースに着信を受けた場合:

- ▶ ディクタフォンモードをオフにして通話に応答します。

コンピューターのオーディオを録音する

コンピューターのアプリケーションを通じて、通話またはオーディオ信号を直接録音することができます。電話のディクテーションモードがオフになっている（上記を参照）時以外は、コンピューターで録音を聞くことはできません。

ディクテーションモードをオフにするには:



- ▶ ベースステーションの ☎ アイコンまたは ☐ （白いLED）アイコンと + アイコンを同時に1秒間タッチします。
ディクテーションモードがオフになります。「**Dictation mode OFF**」の音声プロンプトがアナウンスされます。ベースステーションの LED + がオフになります。

ベースステーションの電源を切るか、または再起動すると、ディクテーションモードもオフになります。

ヘッドセットを使用して音楽を聴く

ご使用のコンピューターまたはモバイルデバイスから音楽を聴くことができます。

スマートフォンで Bluetooth ドングル BT-D 800 を使用する場合：

- ▶ スマートフォンで Bluetooth を有効化します。



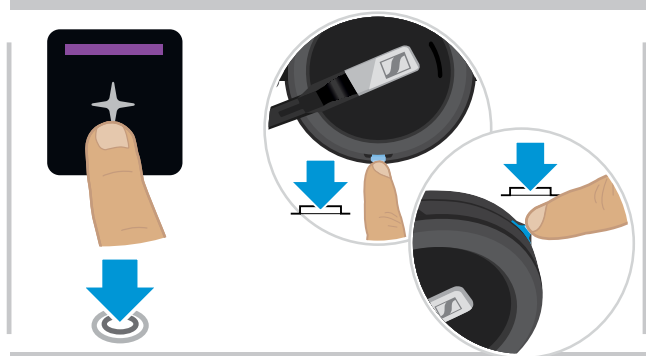
- ▶ 〻または 〻 アイコンにタッチします。
対応する LED ライトが白く点灯します。
- ▶ ヘッドセットを装着します。



- ▶ ご使用のオーディオソースで音楽を再生します。
ヘッドセットの LED とベースステーションの +LED が紫色に点灯します。

LED は初期設定ではオフになっていますが HeadSetup™ Pro で有効化することができます。

i 着信を受けて応答した場合は、音楽は一時停止し、(音楽の再生装置がこの機能をサポートしている場合は) 通話終了後に再開します。



- ▶ トラックを再生する
- ▶ トラックを一時停止する



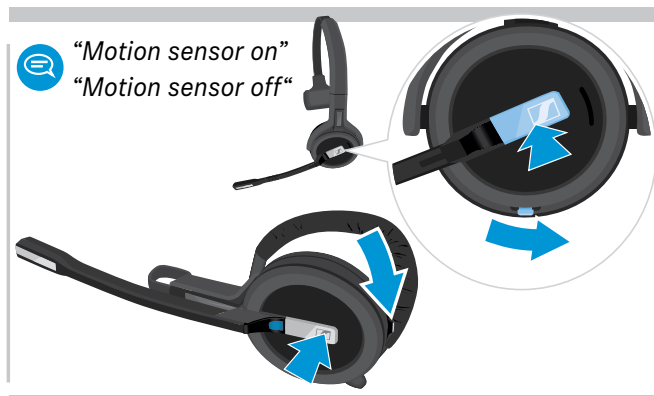
モーションセンサーの使用

ヘッドセットには、ヘッドセットがいつ休止位置に戻されたかまたは休止位置から外されたかを記録するモーションセンサーが搭載されています。

モーションセンサーを有効/無効にする



▷ ヘッドセットを装着し、イヤークップを左耳に合わせます。

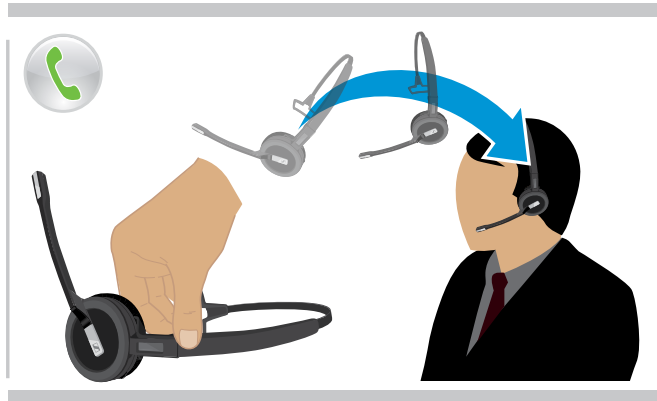


▷ 音量ボタンを図のように押し、同時にフックボタンを押します。ビープ音が3回聞こえるまでボタンを押し続けます。モーションセンサーが有効/無効になり、装着する側を選択することができます。「**Motion sensor on**」または「**Motion sensor off**」の音声プロンプトがアナウンスされます。



この設定は、HeadSetup™ Pro から変更することもできます。

モーションセンサーを使用する



▷ デスクからヘッドセットを持ち上げて装着します。センサーが動作と着信への応答を記録します。

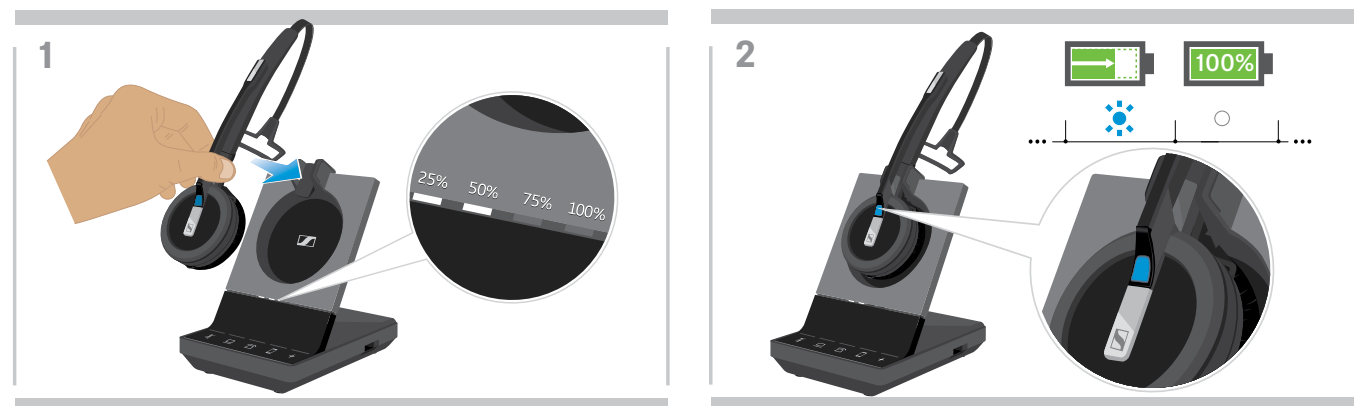
SDW 30 HS | SDW 60 HS:

音楽の再生はヘッドセットを置くと停止し、ヘッドセットを装着すると再開します。

ヘッドセットの充電とヘッドセットシステムの保管

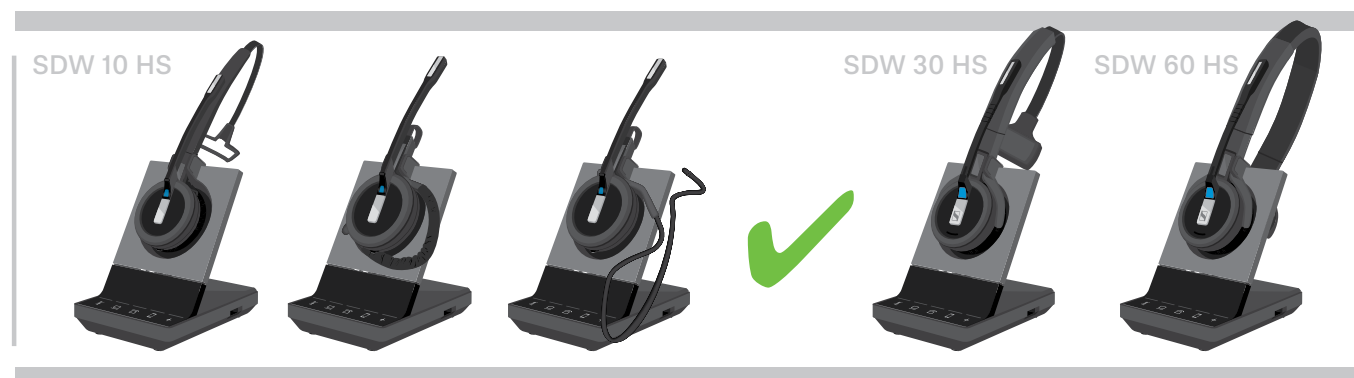
ヘッドセットを充電する

必要な時に完全に充電された状態で使用できるよう、ヘッドセットは常にベースステーションに乗せておくようにしてください。充電式バッテリーが切れる少し前に (残り15分)、ヘッドセットに「recharge headset」の音声プロンプトがアナウンスされます。ヘッドセットが12時間使用されていない場合、バッテリー節約のためスイッチがオフになります。再度スイッチを入れるには、ヘッドセットのフックボタンを押します。この機能は、[HeadSetup™ Pro](#)で無効化できます。



- ▶ ヘッドセットをベースステーションのマグネット式ホルダーに乗せます。
ベースステーションのヘッドセットのバッテリーステータスLEDが充電状態を示します。

充電中は、ヘッドセットのLEDライトが青色に点灯します。ヘッドセットの充電が完了するとLEDがオフになります。



SDW 10 HS充電の概要

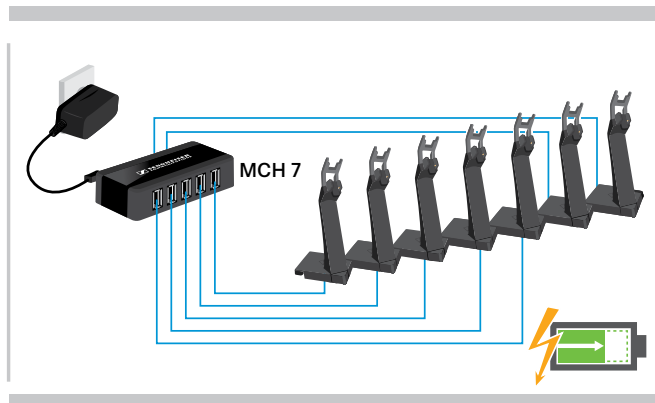
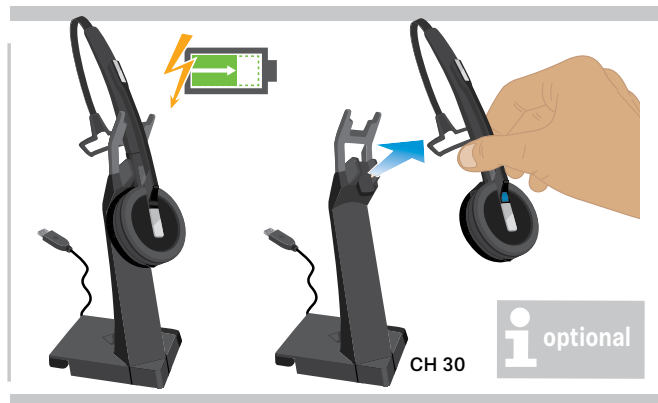
LED セグメント	必要な充電時間	対応する通話時間		
		スーパーワイドバンド	ワイドバンド	ナローバンド
	約10分	約1時間	約2時間	約3時間
	約20分	約2時間	約4時間	約6時間
	約40分	約3時間	約6時間	約9時間
	約60分	約6時間	約8時間	約10時間

SDW 30 HS | SDW 60 HS充電の概要

LED セグメント	必要な充電時間	対応する通話時間		
		スーパーワイドバンド	ワイドバンド	ナローバンド
	約10分	約1時間	約2時間	約2時間
	約20分	約2時間	約3時間	約4時間
	約40分	約5時間	約7時間	約8時間
	約60分	約9時間	約11時間	約14時間

CH 30 充電器でヘッドセットを充電する| 複数のヘッドセットを同時に充電する

CH 30 ヘッドセット充電器と MCH 7 マルチ USB 電源はオプションのアクセサリです。例えばシフト勤務で同じベースステーションを共有する場合などに、CH 30 を使用して追加の SDW ヘッドセットを充電することができます。MCH 7 で複数の CH 30 を接続することで、最大7台のヘッドセットを同時に充電することができます。



▶ より詳しい情報については、CH 30 または MCH 7 のクイックガイドを参照してください。

長時間使用しない場合に、ヘッドセットシステムをオフにする

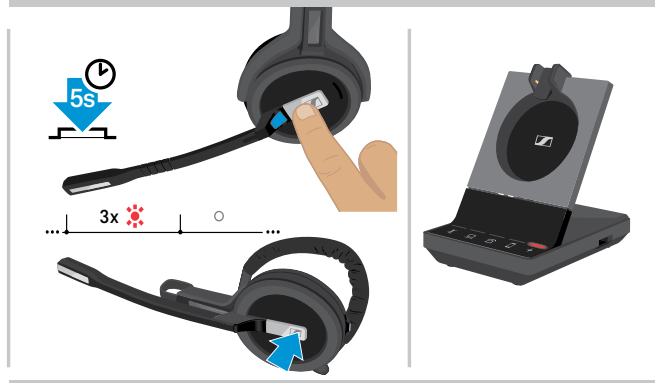
長時間製品を使用しない場合 (休暇中など) は、ヘッドセットシステムまたはヘッドセットの電源を切ることができます。

ヘッドセットシステムをオフにする



▶ ベースステーションを主電源とコンピューターから切り離します。ベースステーションとヘッドセットの電源が直ちに切れ、LED がオフになります。

ヘッドセットをオフにする



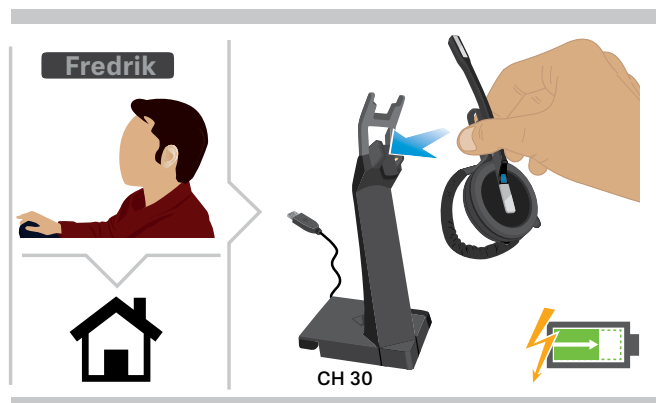
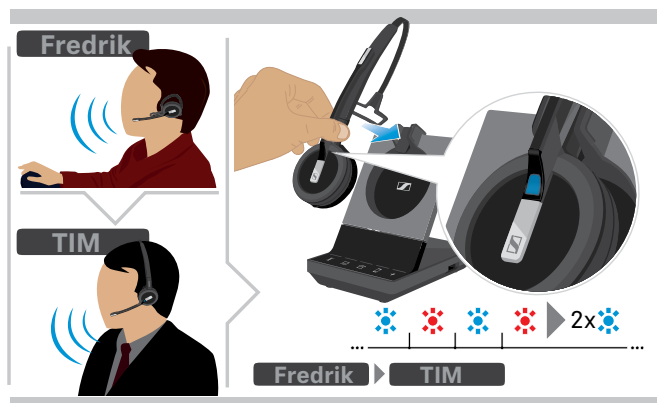
▶ フックボタンを5秒間プレス アンド ホールドしてヘッドセットの電源を切ります。ヘッドセットの LED が3回赤く点滅します。ベースステーションのヘッドセットのバッテリーステータス LED がオフになります。+LED が赤色に点灯します。

ヘッドセットを再度オンにするには：

▶ フックボタンを押します。

ワークスペース(仕事場)を共有する

SDW 5000 ヘッドセットとベースステーションは互いに互換性があります。ワークスペース(仕事場)を共有する場合は、1つのベースステーションで複数のヘッドセットを使用できます。



- ▶ 使用するヘッドセットをベースステーションのマグネット式ホルダーに乗せます。ヘッドセットの LED が青と赤に交互に点滅し、ペアリングが完了すると青く2回点滅します。ヘッドセットの使用準備が完了しました。
- ▶ 使用中以外のヘッドセットを、オプションのヘッドセット用充電器 CH 30 で充電する(46ページを参照)。

サードパーティー製ベースステーション (DECT-GAP 電話) でヘッドセットを使用する



- ▶ サードパーティー製ベースステーションから最大1 m の距離にヘッドセットを配置します。
- ▶ ビープ音が3回するまで、ヘッドセットのフックボタンとミュートボタンを同時に長押しします。ヘッドセットが特別ペアリングモードに切り替わり、ヘッドセットの LED が青と赤に交互に点滅します。
- ▶ サードパーティー製ベースステーションを特別ペアリングモードに設定します(サードパーティー製ベースステーションの取扱説明書を参照)。ヘッドセットのデフォルトの暗証番号は「0000」です。ヘッドセットがサードパーティー製ベースステーションにペアリングされます。ペアリングに成功すると、ヘッドセットの LED がオフになります。

60秒以内にペアリングできない場合は、ヘッドセットが待機モードに戻ります。

ヘッドセットをGAP 適合デバイスとペアリングした後、そのヘッドセットを SDW 5000 シリーズのベースステーションとペアリングするには:

- ▶ ヘッドセットをベースステーションのマグネット式ホルダーに乗せます。この時、初回はペアリングが開始しないため:
- ▶ ヘッドセットのドッキングを解除し、もう一度ドッキングし直します。ヘッドセットの LED が青/赤に短く点滅し、ペアリングが完了すると青色に変わります。ヘッドセットの充電が開始します。

ヘッドセットシステムのお手入れとメンテナンス

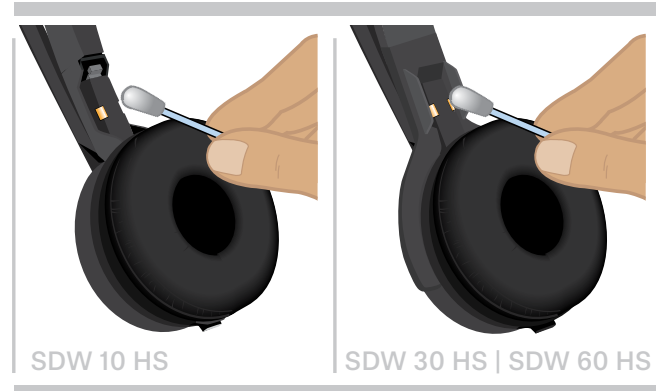
注意

液体は、製品の電子部品を損傷することがあります！

液体が製品の筐体内に入ると、ショートして電子部品が破損する原因となることがあります。

- ▶ 本製品に液体を近づけないでください。
- ▶ 洗剤や溶剤は使用しないでください。

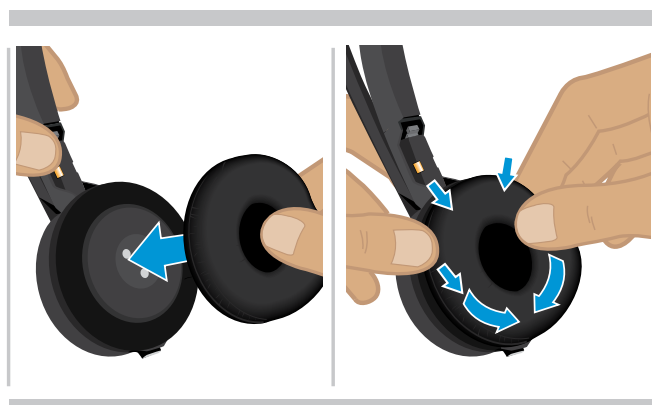
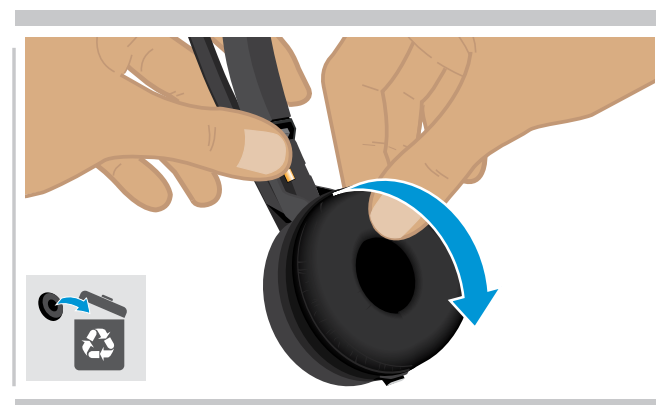
- ▶ お手入れを始める前に、ベースステーションを主電源から切断してください。
- ▶ 製品のお手入れには、乾いた柔らかい布のみを使用してください。



- ▶ 綿棒などを使用して、ベースステーションとヘッドセットの充電用接点を時々掃除してください。

イヤークップを交換する

衛生的にお使いいただくために、イヤークップは時々交換してください。交換用のイヤークップは、お近くの Sennheiser 販売店でお求めいただけます。



- ▶ イヤークップから古いイヤークップを慎重に取り外します。
- ▶ イヤークップの周囲をしっかりと押し込むようにして、イヤークップに新しいイヤークップを取り付けます。

ヘッドセットの充電式バッテリーの交換/取り外し

注意

製品を損傷する恐れがあります！

保証期間中は、充電式バッテリーは、Sennheiser の認定サービスセンターでのみ交換することができます。そうでない場合は保証が無効になります。

▶ 充電式バッテリーを交換する必要がある場合は、お近くの Sennheiser サービスセンターにご連絡ください。お住まいの国の Sennheiser 販売店は、www.sennheiser.com で検索できます。

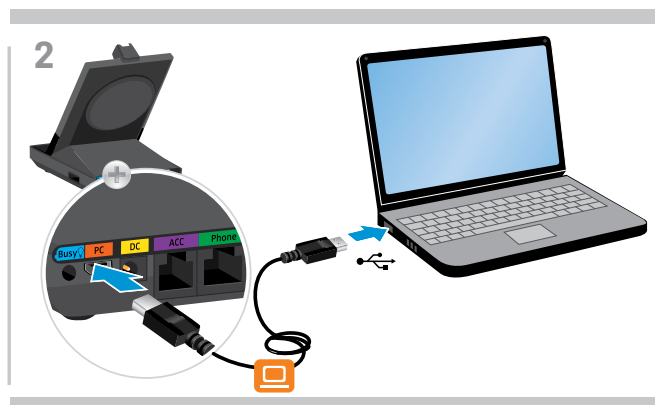
保証期間が過ぎた後は、認可されたサービスセンターまたは貴社のIT部門またはサービス部門の有資格技術者が充電式バッテリーの交換または取り外しを行って構いません。有資格技術者のためのバッテリーの交換方法と取り外し方法に関する説明書は、Sennheiser 販売店でお求めいただけます。

製品のファームウェアをアップデートする

無料の **HeadSetup™ Pro** ソフトウェアを使用することで、ヘッドセットシステムと Bluetooth ドングルのファームウェアをアップデートできます。

▶ ベースステーションをお使いのコンピューターに接続して、必要なソフトウェア (13 ページを参照) をインストールします。

ベースステーションとヘッドセットのファームウェアを更新する



▶ ヘッドセットをベースステーションのマグネット式ホルダーに乗せます。

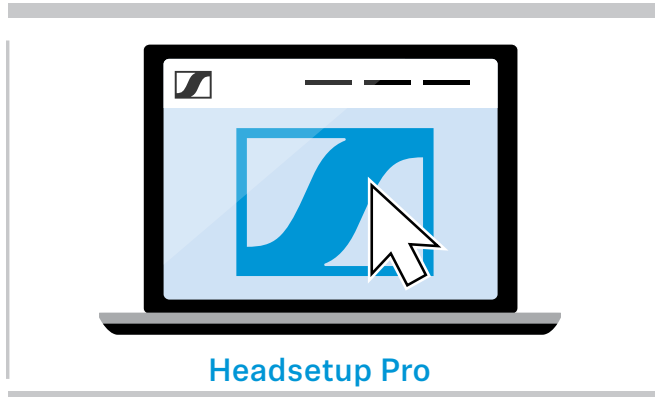
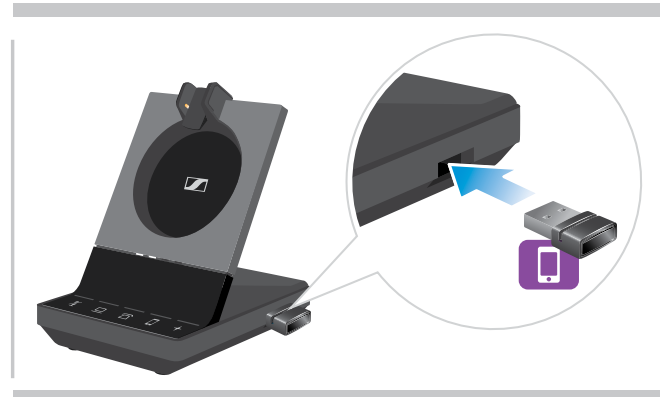
▶ USB ケーブルを使用して、ベースステーションをコンピューターの USB ポートに接続します。

▶ **HeadSetup™ Pro** を起動します。

HeadSetup™ Pro が、インストールされたファームウェアが Sennheiser サーバーで入手できる最新版かどうかチェックします。必要な場合は最新バージョンにアップグレードしてください。ヘッドセットはベースステーションを通じて自動的にアップデートされます。



Bluetooth ドングル BT-D 800 USB のファームウェアをアップデートする



Headsetup Pro

▶ BT-D 800 USB をベースステーションの USB ポートに差し込みます。旧バージョンの dongle のいくつかは、アップデートするためにコンピューターに直接接続する必要があります。「新しい」dongle は筐体の下側にある 2 本のグレーの線で見分けることができます。

▶ **HeadSetup™ Pro** を起動します。**HeadSetup™ Pro** が、インストールされたファームウェアが Sennheiser サーバーで入手できる最新版かどうかチェックします。必要な場合は最新バージョンにアップグレードしてください。

問題が生じた場合

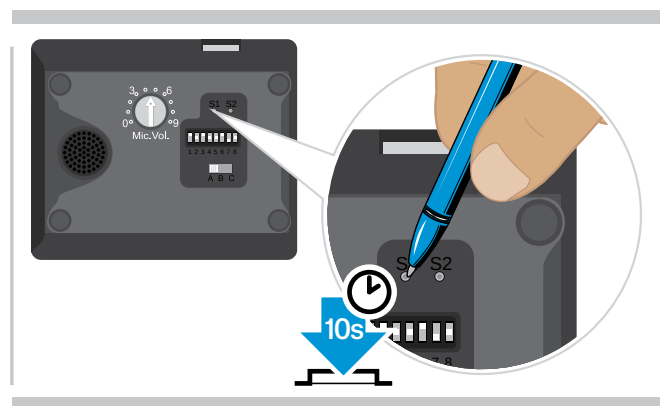
問題	考えら得る原因	解決策	ページ
ヘッドセットがベースステーションに置かれているのに充電ステータス LED がオフになっている	ベースステーションが主電源に接続されていない	▶ ベースステーションを主電源に接続します。	10
	充電式バッテリーが過放電している	▶ 充電ステータス LED が点灯するまで数分間待ちます。	46
	ベースステーションのファームウェアのバージョンがヘッドセットのファームウェアのバージョンよりも古くなっています	▶ ベースステーションのファームウェアを更新してください。	50
ヘッドセットとベースステーションのリンクを確立できない	ヘッドセットがベースステーションとペアリングされていません。+LED ライトが赤く点灯します。	▶ ヘッドセットをベースステーションに乗せます。	46
ヘッドセットとベースステーションの接続不良	伝送範囲を超えている	▶ ヘッドセットとベースステーションの距離を小さくします。	33
		▶ 電波領域を調整します。	27
ノイズ干渉と接続中断	マイクが頬やひげに擦れる	▶ マイクが口の端から約 2 ～ 3 cm (0.8 - 1.2 インチ) の位置に来るようヘッドセットを調整します。	18
	電波領域に多くの DECT システムがありすぎる	▶ 電波領域を小さくします。	27
	ベースステーションと固定電話の距離が小さすぎるため干渉が生じる	▶ ベースステーションと固定電話の距離を大きくする。	–
ヘッドセットのバッテリーを充電できない	ヘッドセットまたはベースステーションの充電接点が汚れている	▶ ヘッドセットとベースステーションの充電接点を掃除します。	49
	充電式バッテリーの欠陥/劣化	▶ サービスセンターに充電式バッテリーの交換を依頼してください。	50
	ヘッドセットがベースステーションに正しく乗せられていない	▶ ヘッドセットがマグネット式ホルダーに正しく乗せられているか確認します。	46
固定電話からの音声が入ったり途切れたりする	ベースステーションが固定電話用に調整されていない。	▶ ABC スイッチを使用してベースステーションを固定電話用に調整します。	30
音声プロンプトの代わりにピープ音が鳴る	音声プロンプトが無効になっている	▶ 音声プロンプトを有効にしてください。	32

問題	考えら得る原因	解決策	ページ
通話可能時間が短い	充電式バッテリーが劣化している	▶ サービスセンターに充電式バッテリーの交換を依頼してください。	50
	ベースステーションとヘッドセットの距離が遠い	▶ 可能な場合は距離を縮めてください。距離が遠いと、より多くの伝送電力が必要になるため、通話可能時間が短くなります。	–
	高速リンクが有効になっている	▶ バッテリー電力を節約するために、高速リンクを無効にしてください。	27
	同じ領域に多くの DECT システムがある	▶ 現在不要な DECT システムをオフにしてください。混雑状態では、より多くの伝送電力が必要になるため、通話可能時間が短くなります。 ▶ 同じ室内で使用できる DECT システムの数はさまざまな条件により異なります： ▶ 米国：ナローバンドモードまたは高密度ワイドバンドモードで最高40台の SDW システムを使用できます (HeadSetup™ Pro で利用可能) ▶ その他の国：ナローバンドモードまたは高密度ワイドバンドモードで最高80台の SDW システムを使用できます (HeadSetup™ Pro で利用可能)	–
	ナローバンド/ワイドバンド設定	▶ ワイドバンド伝送よりも所要電力が少ないため、ベースステーションをナローバンド伝送に設定します。	28
高密度のため通話が切れる	高密度：同じ領域に多くの DECT システムがありすぎる	▶ 領域内のすべての DECT システムの電波領域を小さくします。	27
		▶ 音質をナローバンドまたはワイドバンドに下げます。	28
		▶ DIP スイッチ4 で「高速リンク」が選択されていないことを確認してください。	27
音質が悪い：話し声が低すぎる/音の歪み/相手にエコーが聞こえる/バックグラウンドノイズ	マイクの感度が正しく調整されていない	▶ マイクの感度を調整してください。	30
	マイクが口から離れ過ぎています	▶ マイクの位置を調整してください。	18
DIP スイッチの設定が機能しない	ベースステーションの設定が更新され、HeadSetup™ Pro を通じて上書きされた	▶ システムをリセットします	53
	DIP スイッチの変更後、システムが再起動しない	▶ ベースステーションを少しの間電源から切り離します。	26
ヘッドセット/ベースステーションがボタンを押しても反応しない	ヘッドセットまたはベースステーションの動作不良	▶ 製品を工場出荷時設定にリセットしてください。	53
ベースステーションのバッテリー残量LEDが点滅しており、多機能ボタンが赤く点灯しています	ヘッドセットのファームウェアのバージョンがベースステーションのファームウェアのバージョンよりも古くなっています	▶ ヘッドセットのファームウェアを更新してください。	50
dongle BT 800 USB を介した Bluetooth 接続がない	dongle がベースステーションに正しく挿入されていない	▶ dongle を接続し直してください。	14
	dongle とモバイルデバイスが接続されていない	▶ dongle とモバイルデバイスをペアリングしてください。	15
		▶ モバイルデバイスで Bluetooth を有効化してください。	–
	dongle と Bluetooth のヘッドセットが接続されていない	▶ dongle とヘッドセットをペアリングしてください。	16

問題	考えら得る原因	解決策	ページ
dongle BT D 800 USB が新しいデバイスを受け付けない (ペアリングできない)	dongle のペアリングリストに支障がある	▶ 以前にペアリングしたデバイスのリストをクリアしてください。	16
ゲストヘッドセットが許可されない	ゲストヘッドセットがマスターヘッドセットで許可されない	▶ 手順を繰り返し、マスターヘッドセットでゲストヘッドセットを許可してください。	42
	ゲストヘッドセットがマスターヘッドセットで許可されるのに時間がかかりすぎる		
	使用中のゲストヘッドセットが多すぎる	▶ ヘッドセットのフックボタンを押すことで、他のヘッドセットのうちの1つを会議から抜けさせる。	
ビジーライトが点灯しません	USBポートが無効です:ビジーライトのソケットはUSBポートに接続されています	▶ HeadSetup™ ProでUSBポートを有効化します。	-

上の表に記載されていない問題が発生した場合、または提案された解決法では問題を解決できない場合は、お近くの Sennheiser 販売店にサポートを依頼してください。お住まいの国の Sennheiser 販売店を見つけるには、www.sennheiser.comで検索してください。

工場出荷時設定を復元する (リセット)



- ▶ USB ケーブルまたは電源ユニットからベースステーションに電圧が供給されていることを確認します。
- ▶ 先の尖った物 (ボールペンなど) を使用してリセットボタン S1 を10秒間押します。
ベースステーションの工場出荷時設定が復元されます。

仕様

ヘッドセット SDW 10 HS

寸法 (W x H x D)	50 x 25 x 140 mm / 1.97 x 0.98 x 5.51 インチ
以下のアクセサリを含めた重量:	イヤーフック: 44 g / 1.55 オンス / 0.097 ポンド ヘッドバンド: 58 g / 2.05 オンス / 0.13 ポンド ネックバンド: 43 g / 1.52 オンス / 0.095 ポンド
通話時間	ナローバンド: 最大10時間 ワイドバンド: 最大8時間 スーパーワイドバンド: 最大6時間
待機時間	48時間
充電時間	50%: 約30分 100%: 約1時間
通信範囲 (環境により異なります)	見通し距離: 最大180 m / 590 フィート オフィスビル内: 最大55 m / 180 フィート
周波数応答スピーカー	20 Hz ~ 16 kHz (設定により異なります)
充電式バッテリー (内蔵)	リチウムポリマー ; 3.7 V; 335 mAh
出力	欧州連合/日本: 最大 250 mW (EIRP) 米国: 最大 100 mW (EIRP)
スピーカーのタイプ	ネオジウム磁石
マイクのタイプ	デジタルMEMsマイク (マイク2個)、ノイズキャンセリング

ヘッドセット SDW 30 HS | ヘッドセット SDW 60 HS

寸法 (W x H x D)	SDW 30 HS: 165 x 165 x 62 mm / 6.50 x 6.50 x 2.44 インチ SDW 60 HS: 165 x 170 x 62 mm / 6.50 x 6.69 x 2.44 インチ
重量	SDW 30 HS: 98 g / 3.46 オンス / 0.22 ポンド SDW 60 HS: 136 g / 4.80 オンス / 0.30 ポンド
通話時間	ナローバンド: 最大14時間 ワイドバンド: 最大11時間 スーパーワイドバンド: 最大9時間
再生時間	ワイドバンド: 最大12時間 フルバンド: 最大9時間
待機時間	44時間
充電時間	50%: 約30分 100%: 約1時間約30分
通信範囲 (環境により異なります)	見通し距離: 最大180 m / 590 フィート オフィスビル内: 最大55 m / 180 フィート
周波数応答スピーカー	20 Hz ~ 20 kHz (設定により異なります)
充電式バッテリー (内蔵)	リチウムポリマー ; 3.7 V; 530 mAh
出力	欧州連合/日本: 最大 250 mW (EIRP) 米国: 最大 100 mW (EIRP)
スピーカーのタイプ	ネオジウム磁石
マイクのタイプ	デジタルMEMsマイク (マイク2個)、ノイズキャンセリング

ベースステーション

寸法 (W x H x D)

重量

コネクタ

DECT 周波数帯域

RF 出力

SDW BS 3

SDW BS 5

87 x 122 x 105 mm / 3.43 x 4.80 x 4.13 インチ

320 g / 11.29 オンス / 0.71 ポンド

- 電源ソケット **DC**
- マイクロUSBソケット **PC**
- USB ソケット
- ビジーライトのソケット **ビジー**
- 電源ソケット **DC**
- マイクロUSBソケット **PC**
- USB ソケット
- ビジーライトのソケット **ビジー**
- アクセサリーのソケット **ACC**
- 固定電話のソケット **電話**
- ハンドセットのソケット **ハンドセット**

欧州連合: 1880 ~ 1900 MHz
 米国: 1920 ~ 1930 MHz
 日本: 1893 ~ 1906 MHz

欧州連合/日本: 最大250 mW (EIRP)
 米国: 最大 100 mW (EIRP)

電源ユニット

公称入力電圧

公称入力電流

電源周波数

公称出力電圧

公称出力電流

重量

100 ~ 240 V~

最大 0.3 A

50 ~ 60 Hz

5.0 V ---

2 A

約 100 g / 3.53 オンス / 0.22 ポンド

Bluetooth ドングル BT-D 800 USB

寸法 (W x H x D)

重量

Bluetooth

通信範囲

伝送周波数

プロファイル

22 x 16 x 6 mm / 0.87 x 0.63 x 0.24 インチ

2 g / 0.07 オンス / 0.004 ポンド

バージョン 4.2/ クラス 1

最大 25 m (デバイスにより異なります)

2402 ~ 2480 MHz

- HSP ヘッドセット プロファイル (バージョン 1.2)
- HFP ハンズフリー プロファイル (バージョン 1.7)
- A2DP アドバンスド オーディオ ディストリビューション プロファイル (バージョン 1.3)
- AVRCP オーディオ ビデオ リモートコントロール プロファイル (バージョン 1.6)

出力

典型的感度

最大 8 dBm (EIRP)

-89 dBm

ベースステーション | ヘッドセット | BT-D 800 USB | 電源ユニット

温度範囲

相対湿度

動作時: +5 °C ~ +45 °C / +41 °F ~ +113 °F
 保管時: -20 °C ~ +70 °C / -4 °F ~ +158 °F
 保管時:

動作時: 20% ~ 85%
 保管時: 20% ~ 95%

商標

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。Sennheiser Communications A/S はライセンス契約に基づいてこれらのマークを使用しています。

